

宮城県消防操法大会のあり方 アンケート 結果

■調査概要

1 調査目的

「宮城県消防操法大会のあり方検討会」を進めるにあたり、県内消防団員、消防協会各地区支部事務局及び市町村消防団担当課の宮城県操法大会に対する率直な意見を把握し、検討会における基礎資料として活用する。

2 調査対象

- (1) 宮城県内全消防団員：16,373名（令和7年4月1日時点団員数）
- (2) 宮城県消防協会各地区支部事務局
- (3) 宮城県各市町村消防団担当課

3 回答集計期間

令和8年4月23日（木）から6月10日（水）まで

4 調査方法

みやぎ電子申請サービスLoGoフォーム

5 回答数

- (1) 2,792名（回答率 17%）

※本結果は、信頼水準95%において誤差±1.69%の精度を担保してる

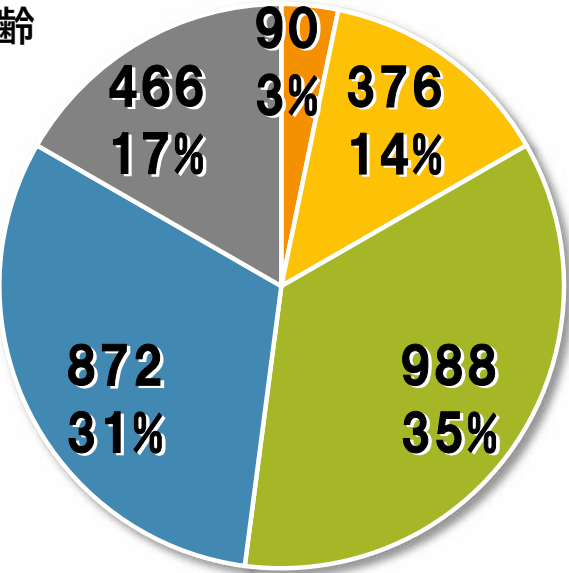
- (2) 10地区支部（回答率 100%）

- (3) 32市町村（回答率 91%）

1 消防団員向けアンケート

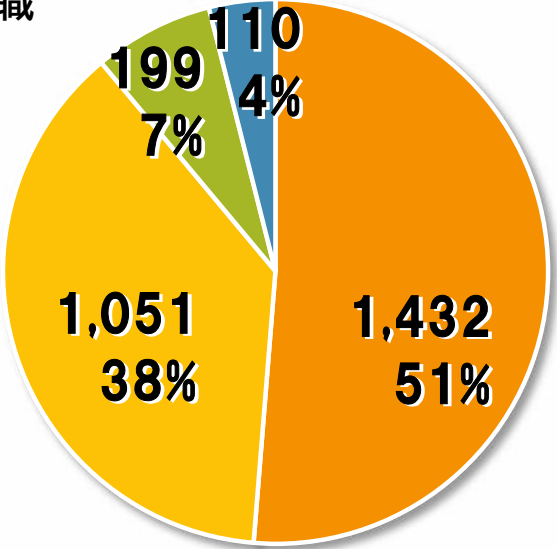
■ 回答者の属性

問1 年齢



n=2,792
(人)

問3 役職

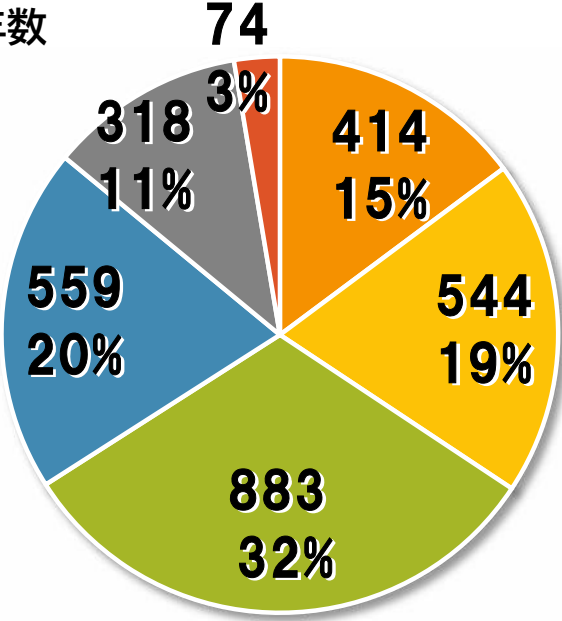


n=2,792
(人)

■ 20歳代以下 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代以上

■ 団員 ■ 副分団長・部長・班長等 ■ 分団長以上 ■ 回答を控える

問4 勤務年数



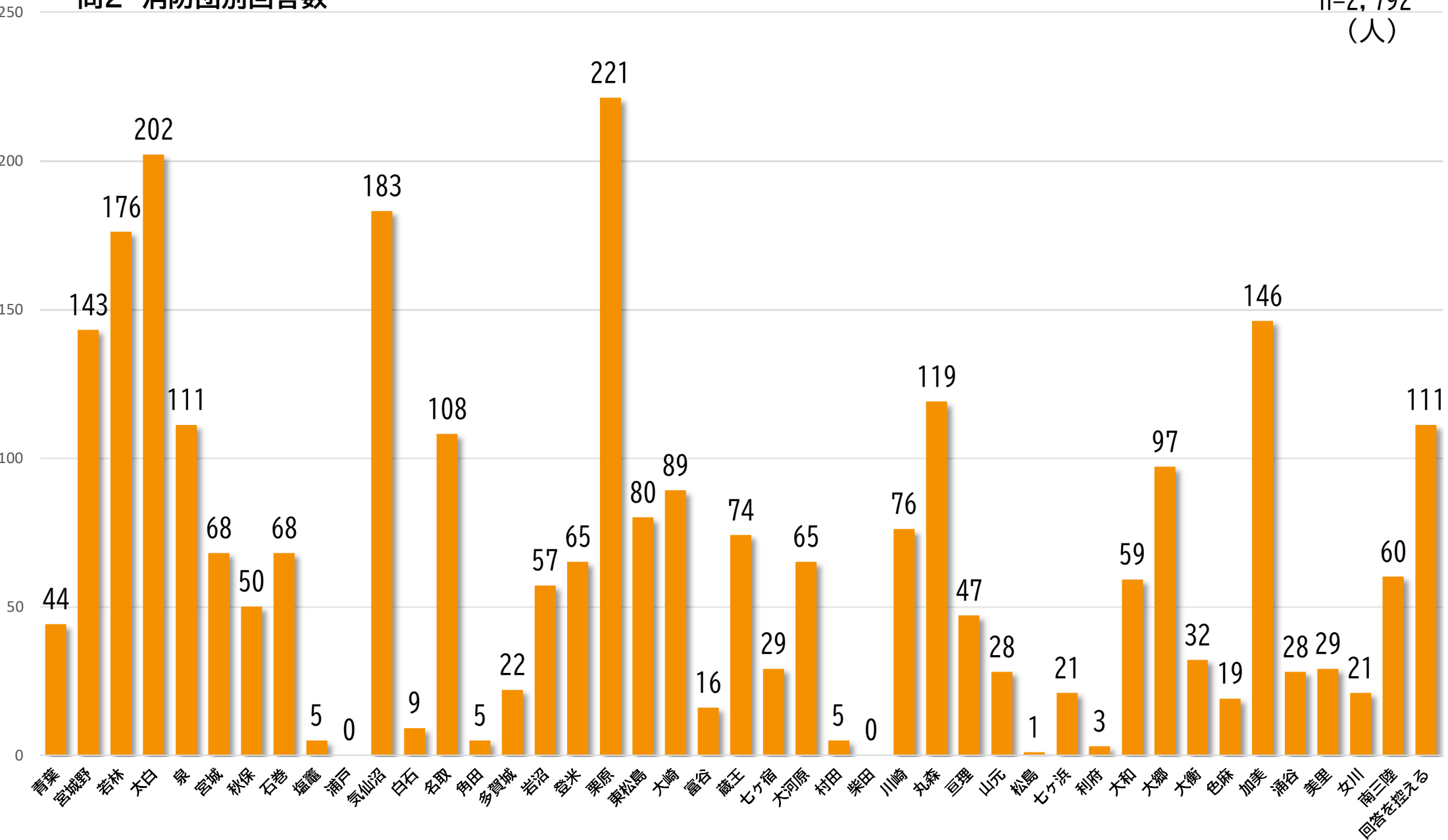
n=2,792
(人)

■ 5年未満 ■ 5年～10年 ■ 11年～20年 ■ 21年～30年 ■ 30年以上 ■ 回答を控える

回答者の属性

問2 消防団別回答数

n=2,792
(人)

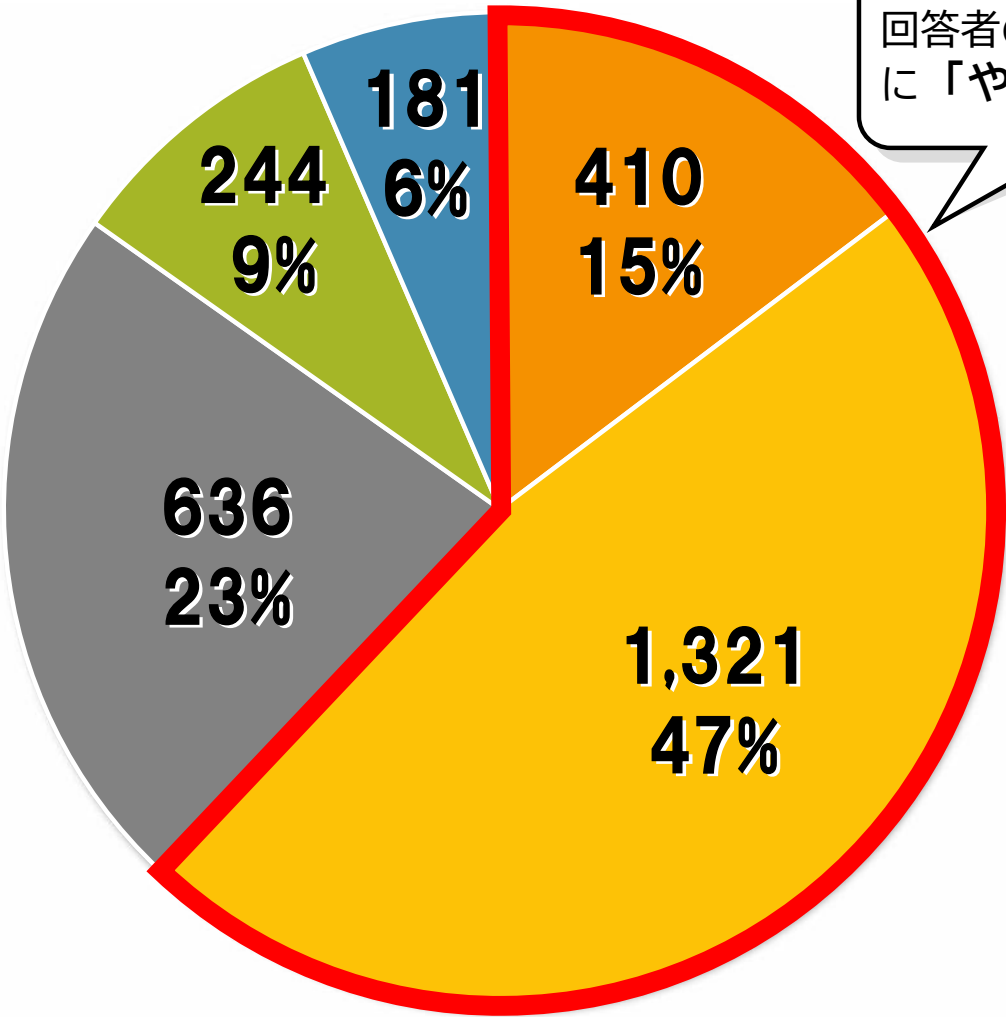


■ 消防団活動について

問5 消防団活動へのやりがい

n=2,792
(人)

回答者の約60%が“消防団活動”に「やりがいを感じている」と回答

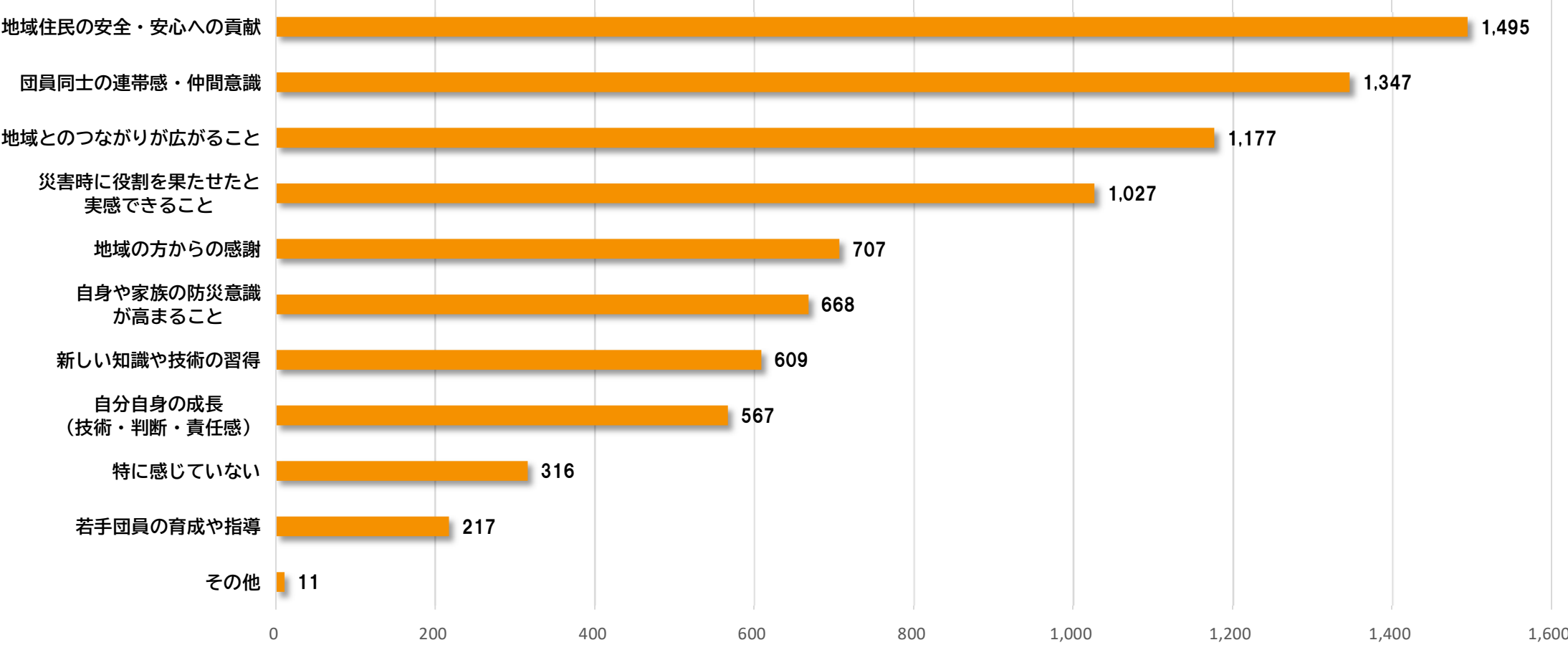


- とても感じている
- ある程度感じている
- どちらともいえない
- あまり感じていない
- ほとんど感じていない

■ 消防団活動について

問6 消防団活動でのやりがい

n=8,141
(人)



～問6 その他～

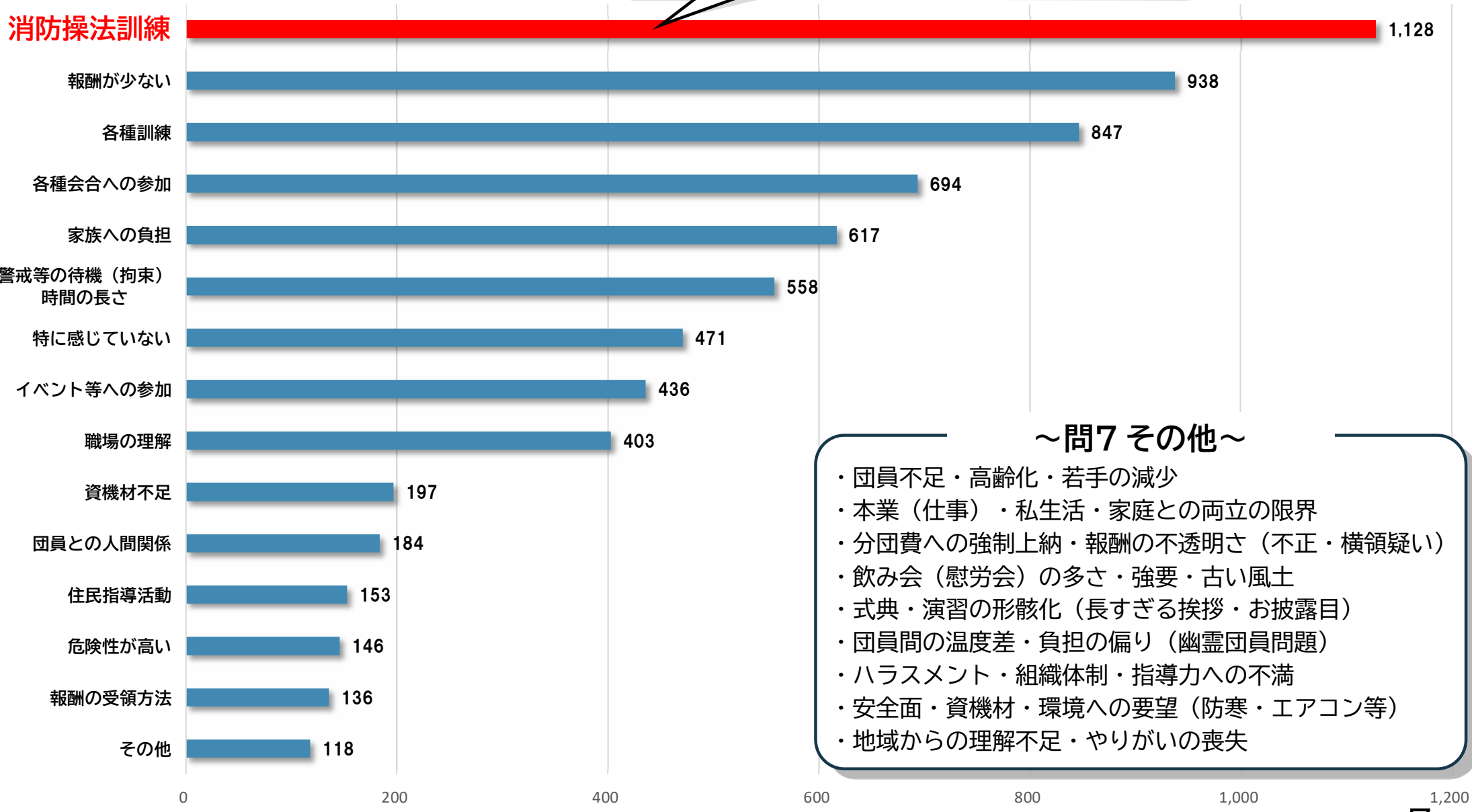
- ・ 他組織（常備・他団）との連携による自団の成長子どもへの域貢献の体現と教育効果後輩団員への技術
- ・ 精神の継承（将来の展望）消防団ならではの独自の役割個別訪問を通じた独居高齢者の安否確認
- ・ 有事の支援体制づくり日常生活や外出先で役立つ救急
- ・ 防災知識の習得日頃から地域を守る消防署員への貢献実感

消防団活動について

問7 消防団活動での不満(負担)

n=7,026
(人)

回答者の約40%が「消防操法大会」を不満(負担)と感じている

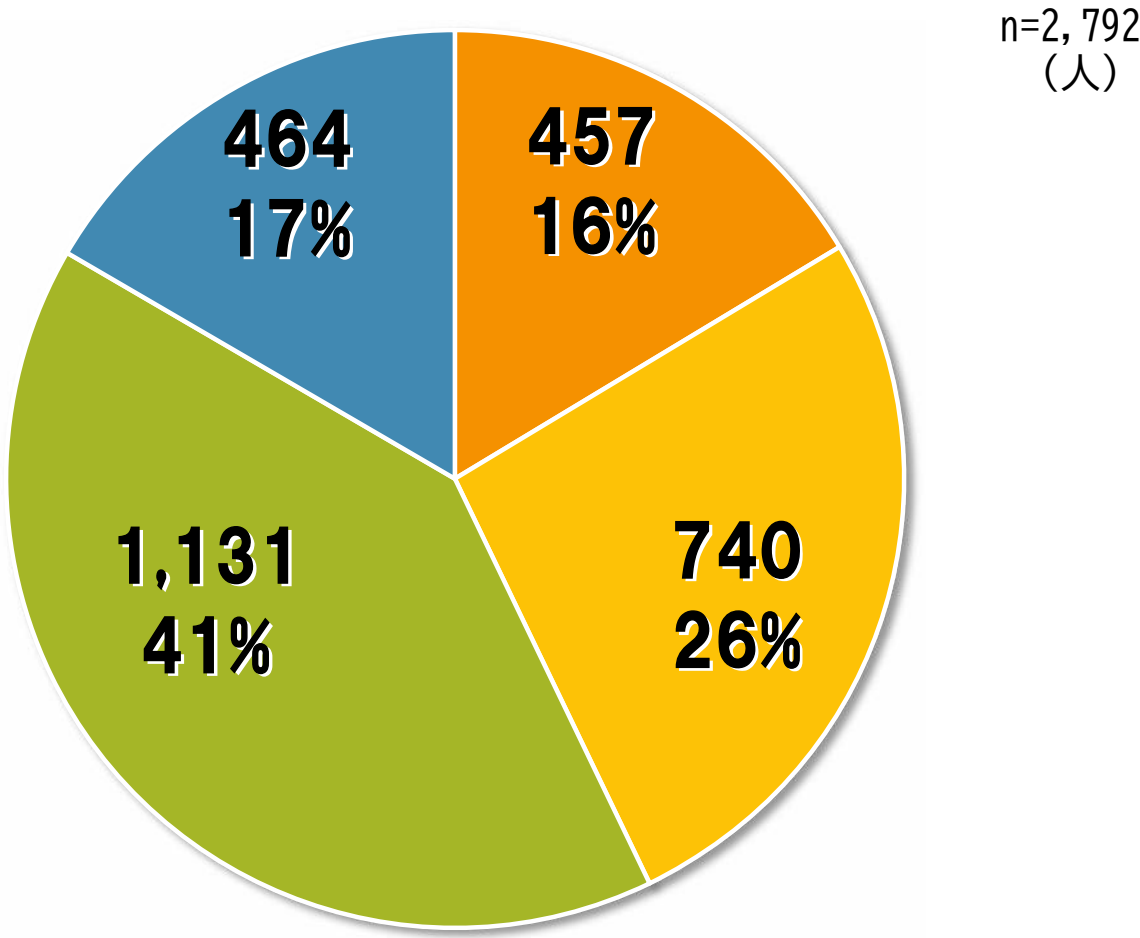


～問7 その他～

- ・ 団員不足・高齢化・若手の減少
- ・ 本業(仕事)・私生活・家庭との両立の限界
- ・ 分団費への強制上納・報酬の不透明さ(不正・横領疑い)
- ・ 飲み会(慰労会)の多さ・強要・古い風土
- ・ 式典・演習の形骸化(長すぎる挨拶・お披露目)
- ・ 団員間の温度差・負担の偏り(幽霊団員問題)
- ・ ハラスメント・組織体制・指導力への不満
- ・ 安全面・資機材・環境への要望(防寒・エアコン等)
- ・ 地域からの理解不足・やりがいの喪失

■ 県操法大会との関わり

問8 県操法大会との関わり

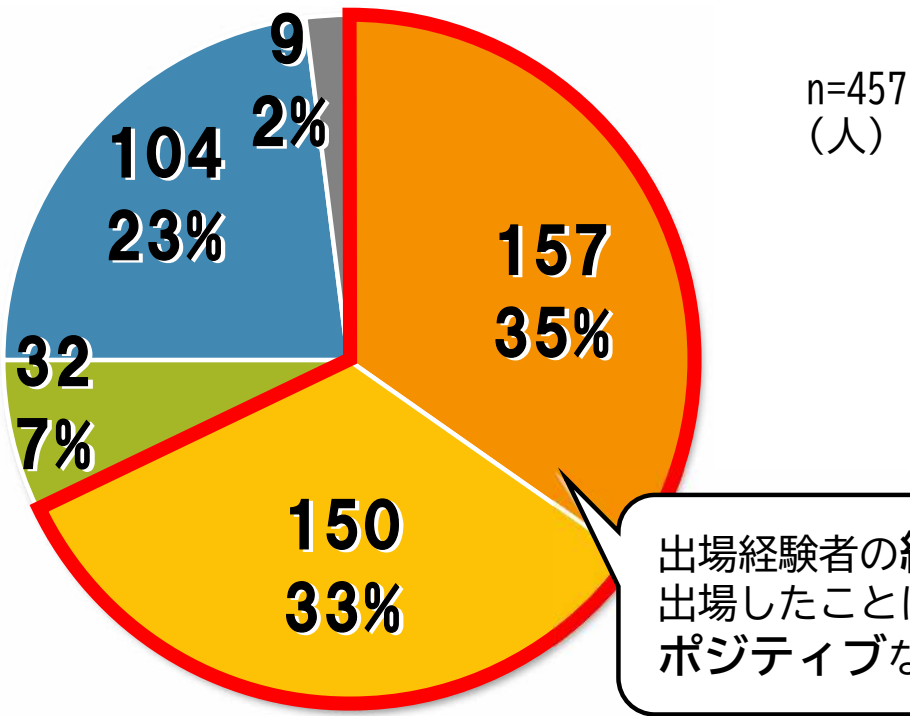


- 出場したことがある
- 出場はしていないが、応援・支援・運営等に関わったことがある
- 名前名称や話を聞いたことがあるが、関わったことはない
- よく知らない

■ 県操法大会との関わり

問9 出場してみてどう感じたか(出場経験者のみ回答)

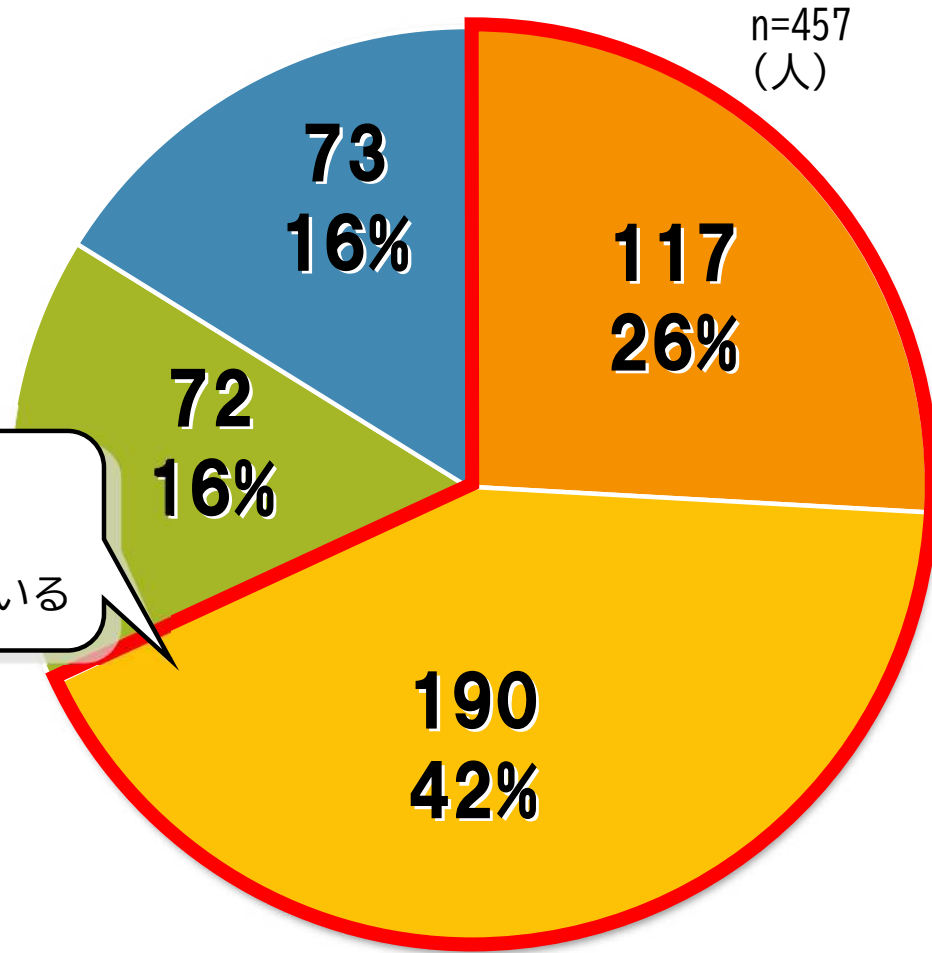
問10 出場経験は、消防活動の技術向上に役立っているか(出場経験者のみ回答)



- 自分にとって、非常にプラスになる経験だった
- それなりに気づきがあり、経験できてよかった
- 期待していたほどの実感や、大きな変化はなかった
- 今のところ、この経験による影響はあまり感じていない
- その他

～問9 その他～

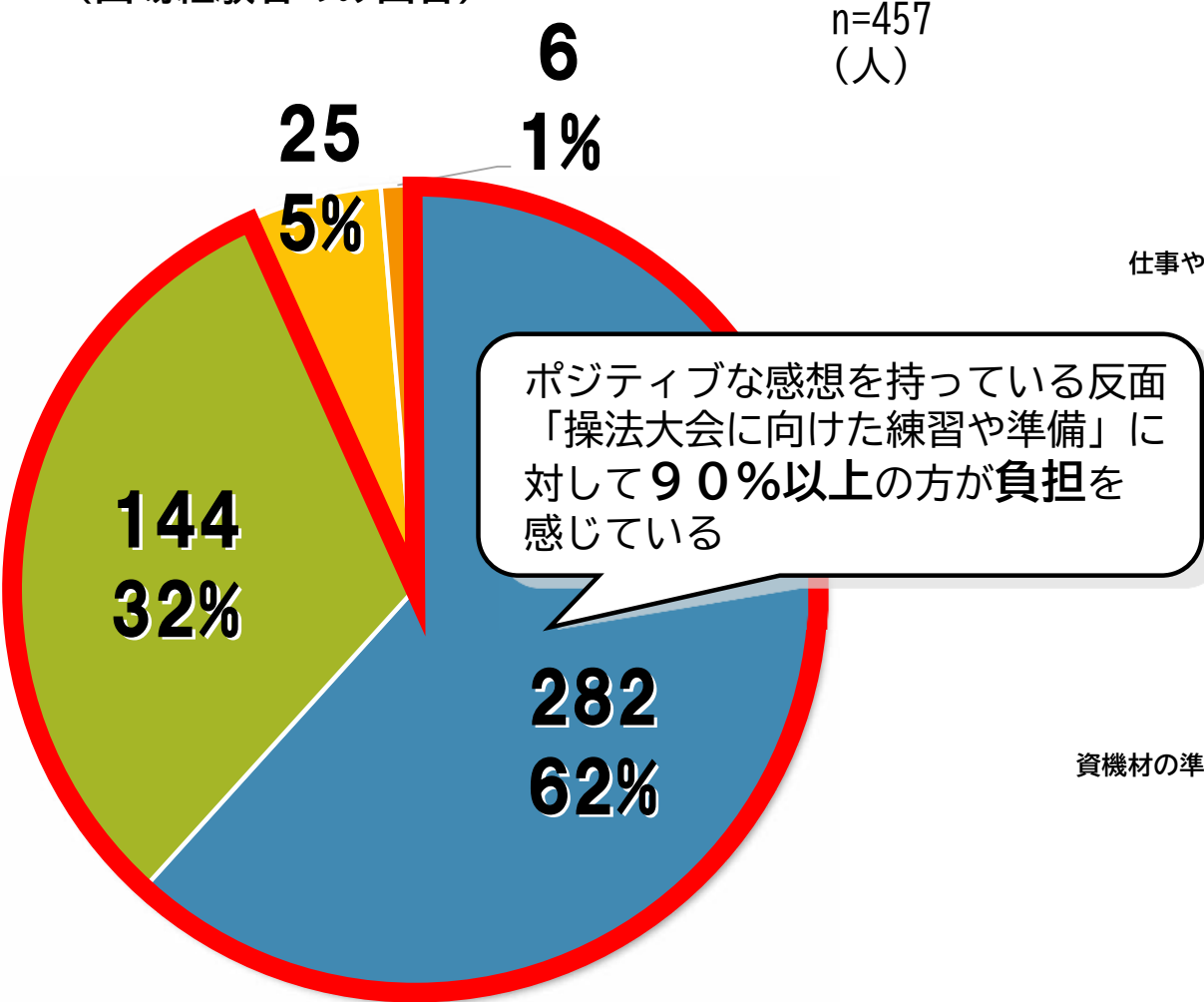
- ・ 大会練習を支えてくれた関係者への感謝と組織の基盤化
- ・ 審査基準の公平性と技術評価（確実性・丁寧さ等）への要望
- ・ 大会運営におけるさらなる簡素化・効率化の必要性
- ・ 参加の強制感や同調圧力の解消（必要性への疑問）
- ・ 休日拘束の長期化による負担軽減と公金（税金）運用の見直し



- とても役立っている
- ある程度役立っている
- あまり役立っていない
- ほとんど役立っていない

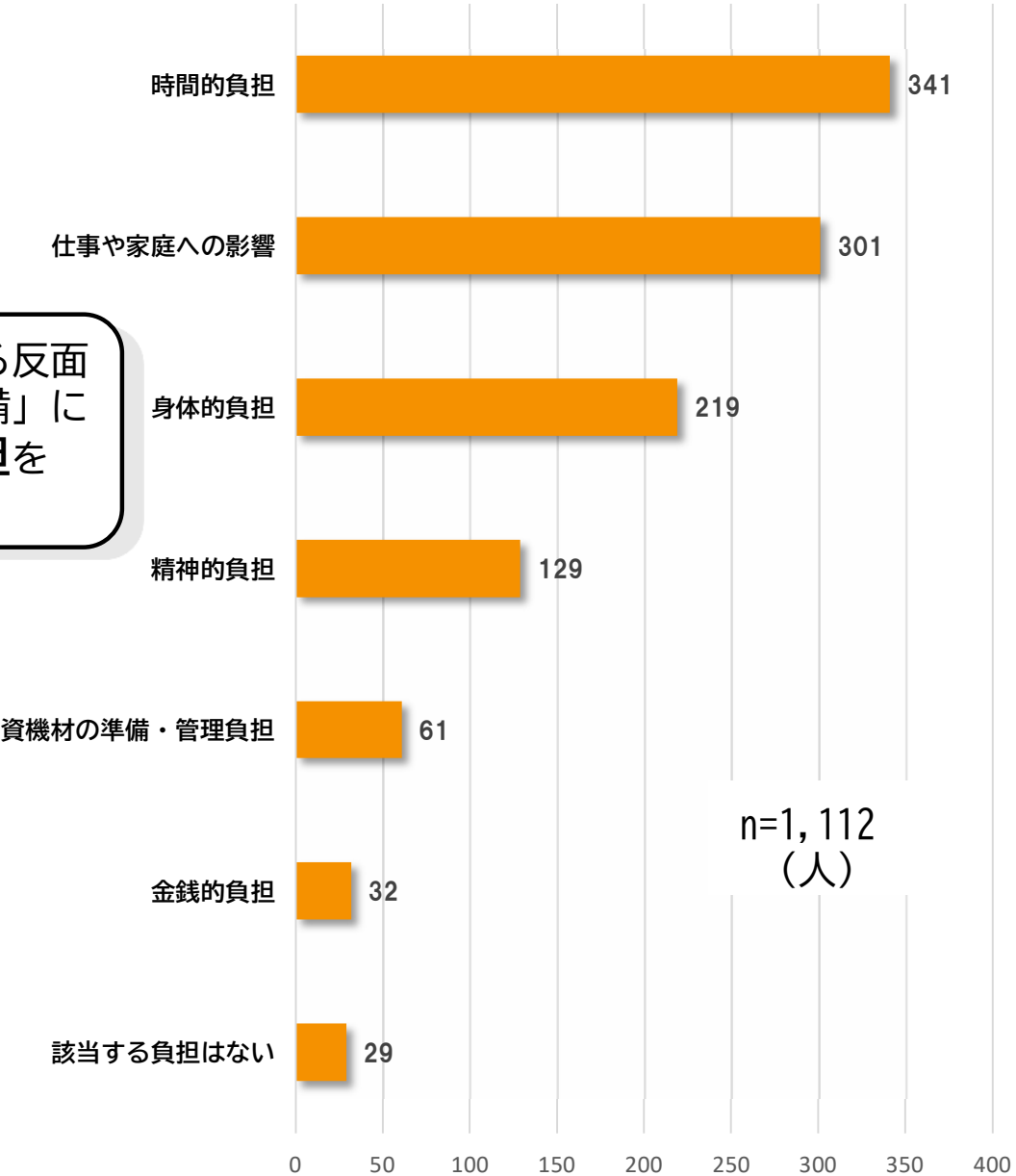
■ 県操法大会との関わり

問11 県操法大会に向けた練習や準備の負担
(出場経験者のみ回答)



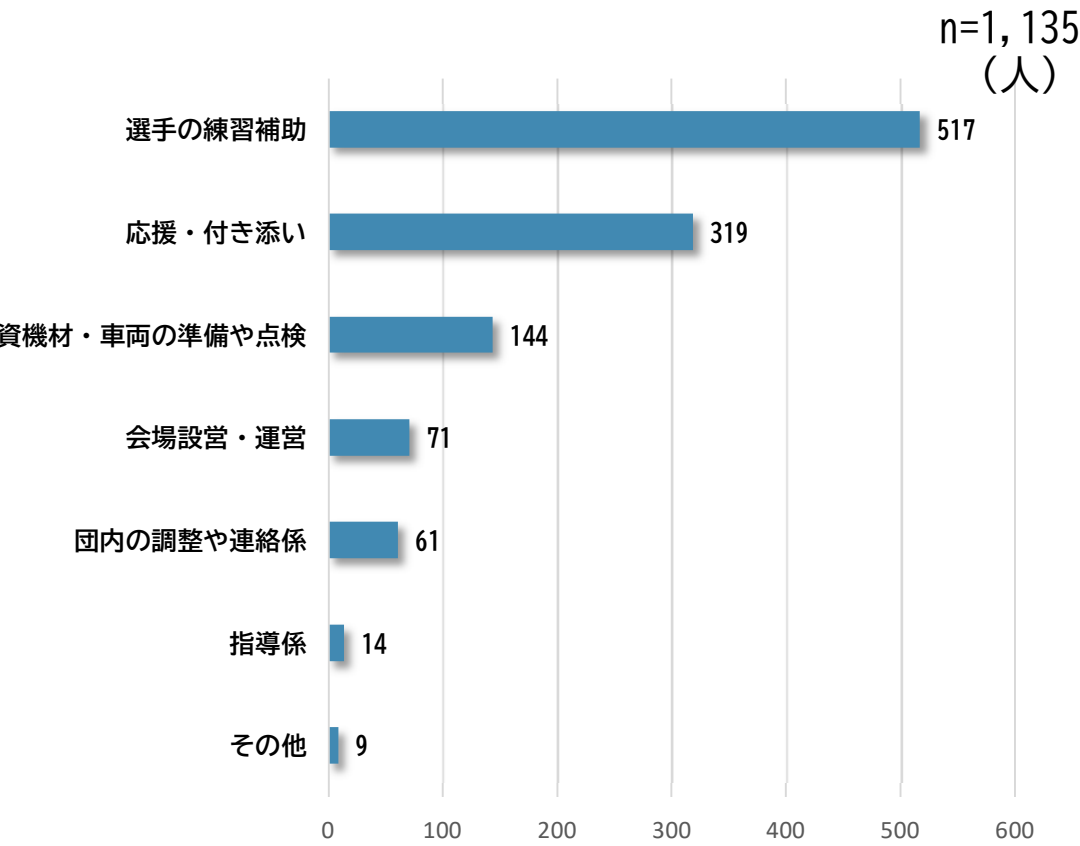
- とても大きい
- ある程度ある
- あまり感じない
- ほとんどない

問12 訓練期間中の負担(出場経験者のみ回答)



■ 県操法大会との関わり

問13 どのように県操法会に関わっていたか
(出場経験はないが関わった方のみ回答)



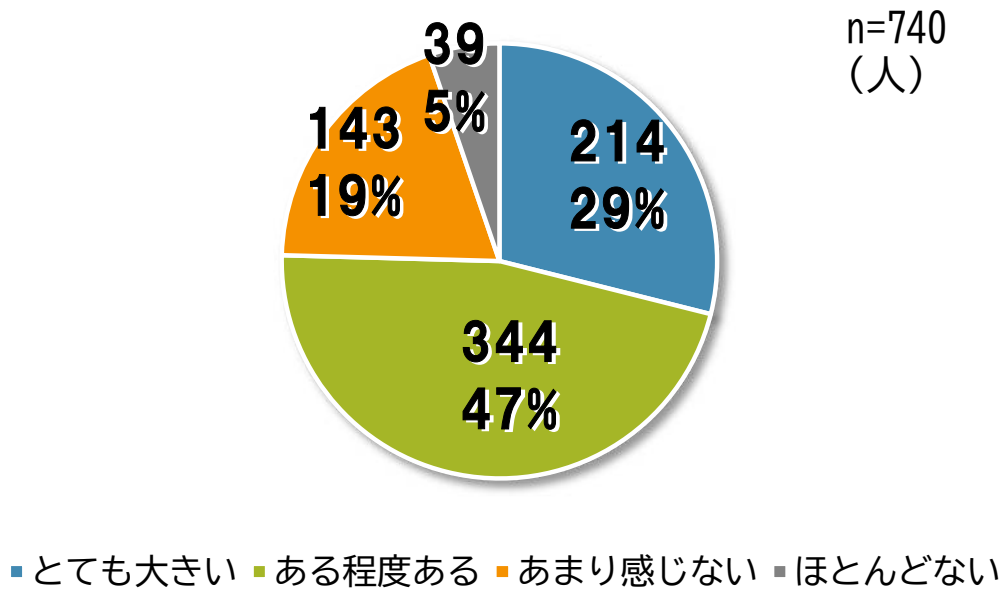
～問13 その他～

- ・ラッパ隊員
- ・ホース撤収

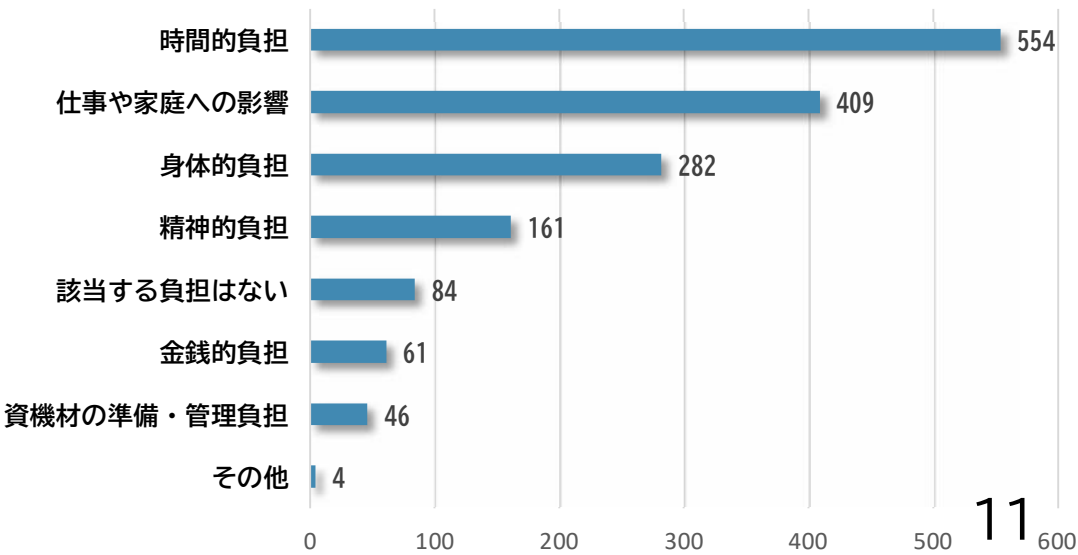
～問15 その他～

- ・習不参加による他団員への申し訳なさ(心理的負担)
- ・仕事(定時退社等)と訓練時間の調整における負担
- ・大会会場における不適切な声援や応援マナーの是正
- ・仕事都合による欠席時の周囲からの同調圧力

問14 県操法大会に関わることでの負担
(出場経験はないが関わった方のみ回答)



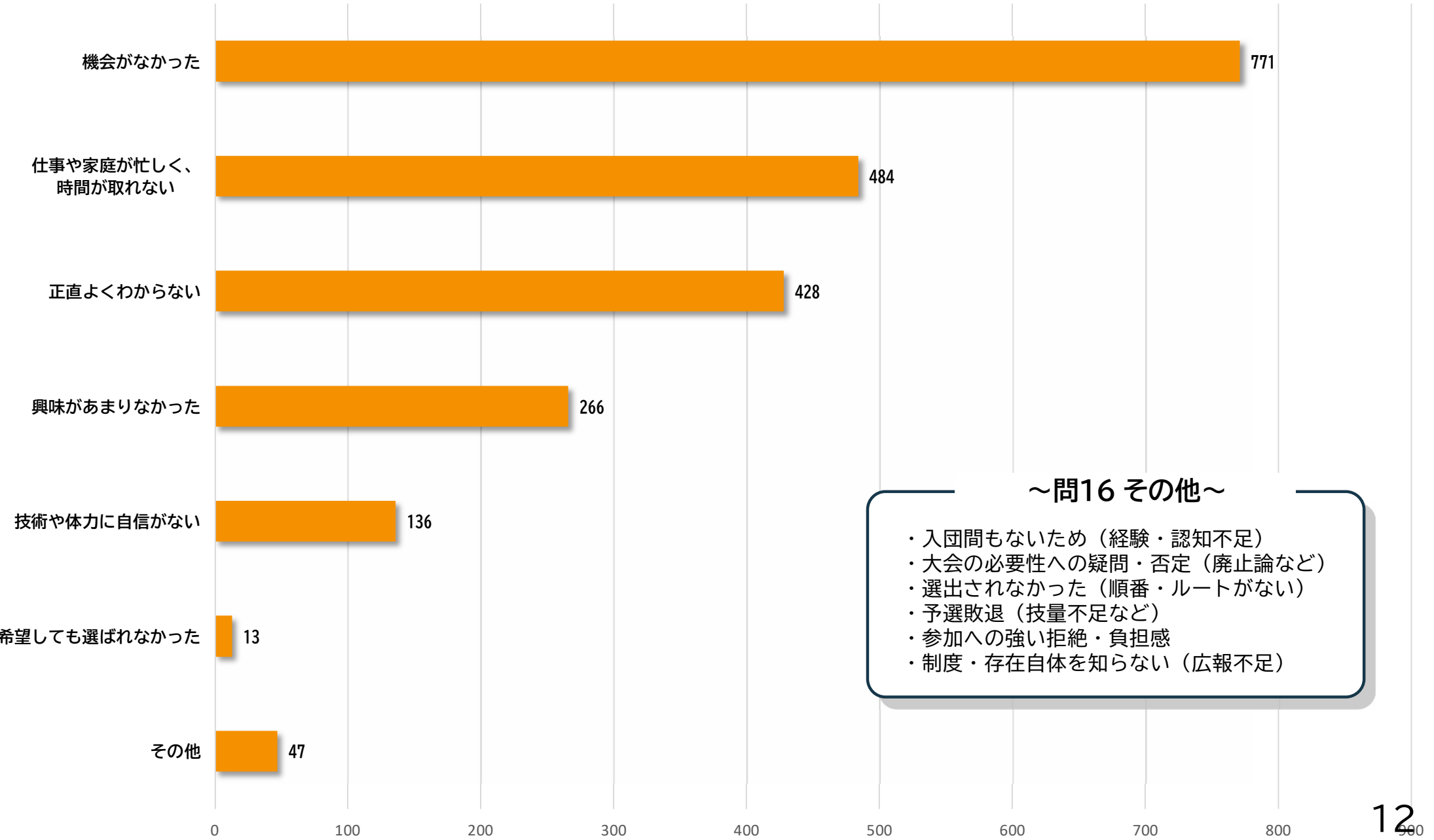
問15 県操法大会に関わる中での負担
(出場経験はないが関わった方のみ回答)



県操法大会との関わり

問16 県操法大会に関わってこなかった理由
(関りがない方のみ回答)

n=2,145
(人)



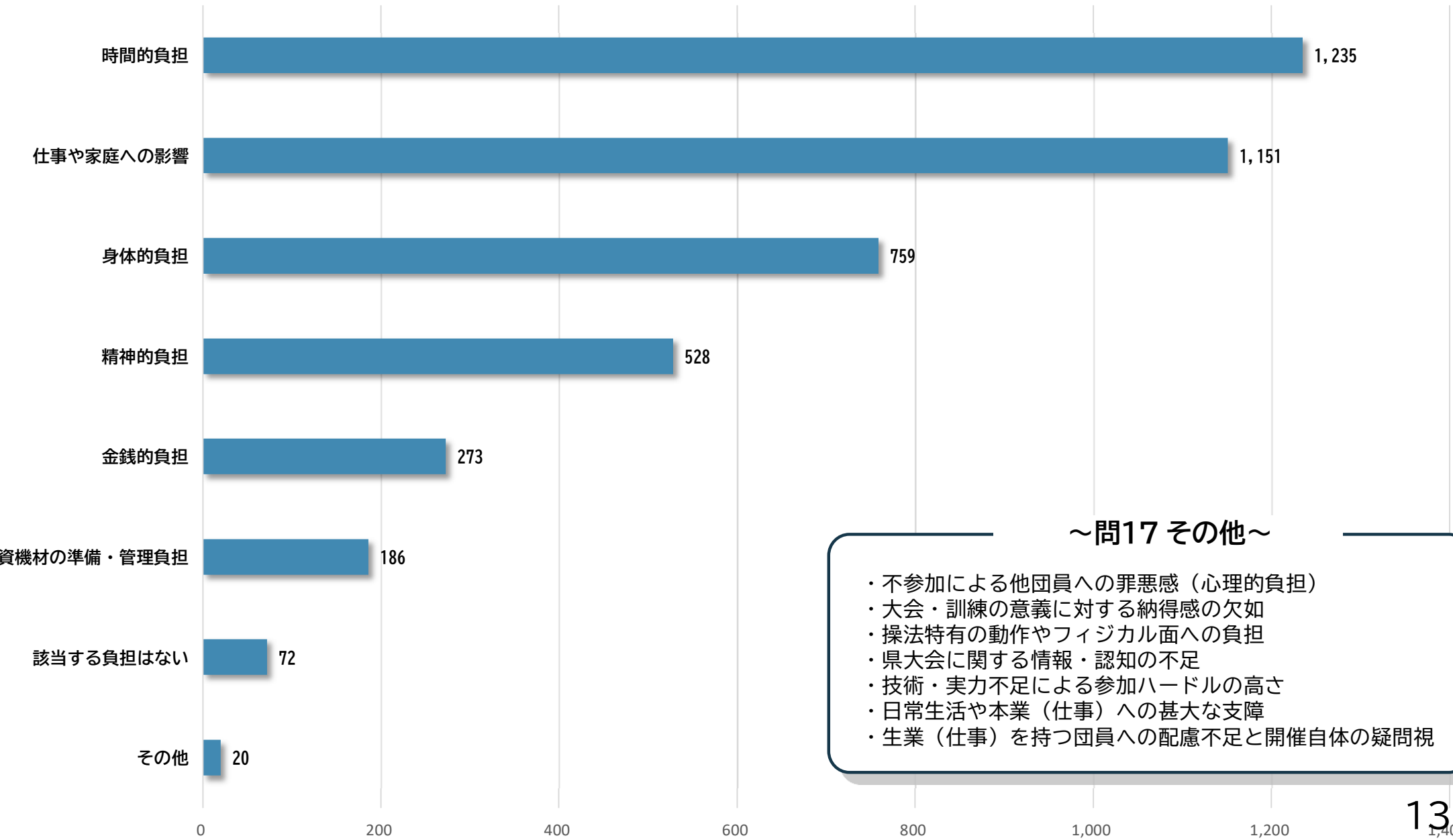
～問16 その他～

- ・入団間もないため（経験・認知不足）
- ・大会の必要性への疑問・否定（廃止論など）
- ・選出されなかった（順番・ルートがない）
- ・予選敗退（技量不足など）
- ・参加への強い拒絶・負担感
- ・制度・存在自体を知らない（広報不足）

県操法大会との関わり

問17 県操法大会に参加することになった場合、負担になると思うこと(関りがない方のみ回答)

n=4, 224
(人)

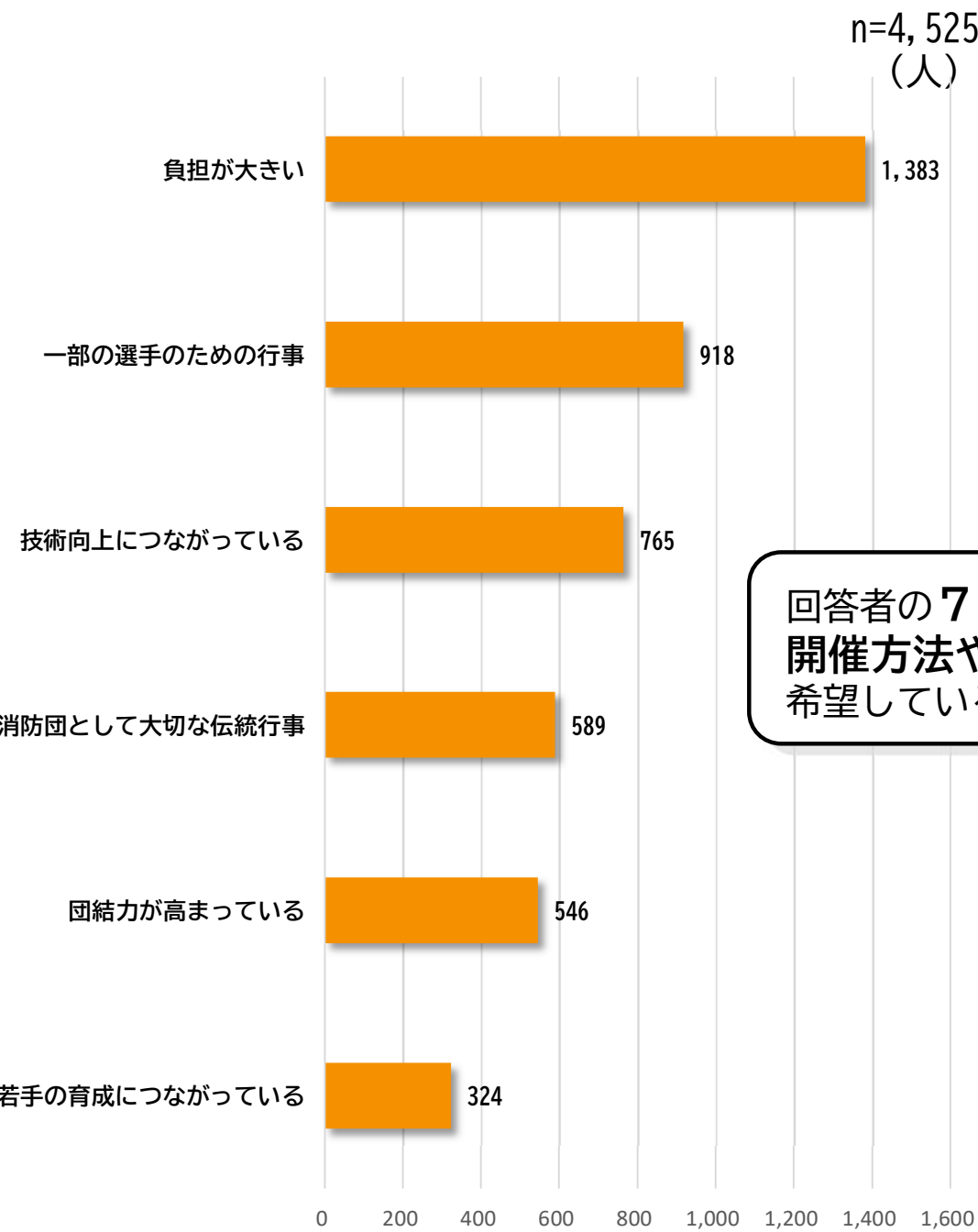


～問17 その他～

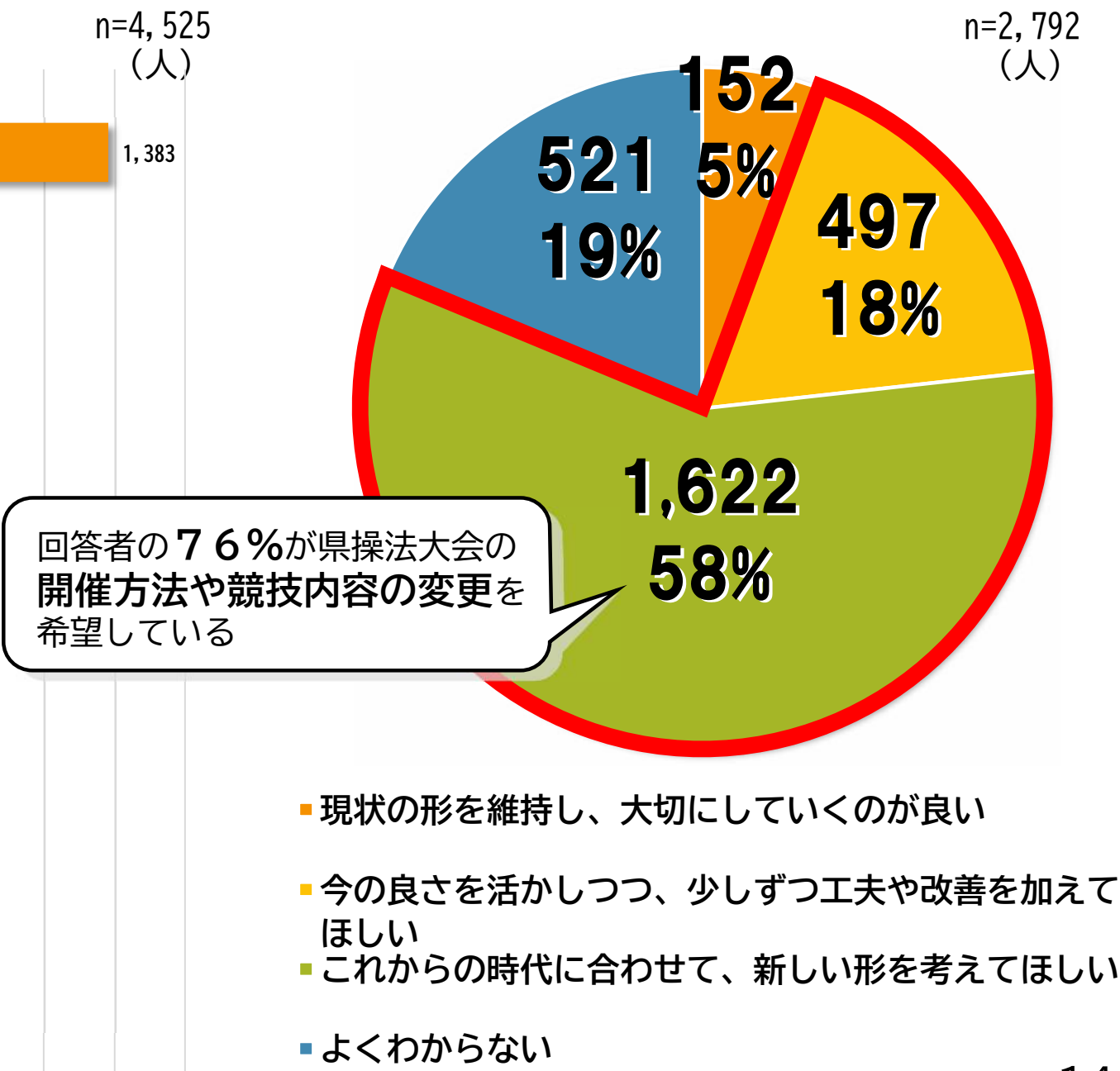
- ・不参加による他団員への罪悪感（心理的負担）
- ・大会・訓練の意義に対する納得感の欠如
- ・操法特有の動作やフィジカル面への負担
- ・県大会に関する情報・認知の不足
- ・技術・実力不足による参加ハードルの高さ
- ・日常生活や本業（仕事）への甚大な支障
- ・生業（仕事）を持つ団員への配慮不足と開催自体の疑問視

■ 県操法大会について

問18 県操法大会の印象



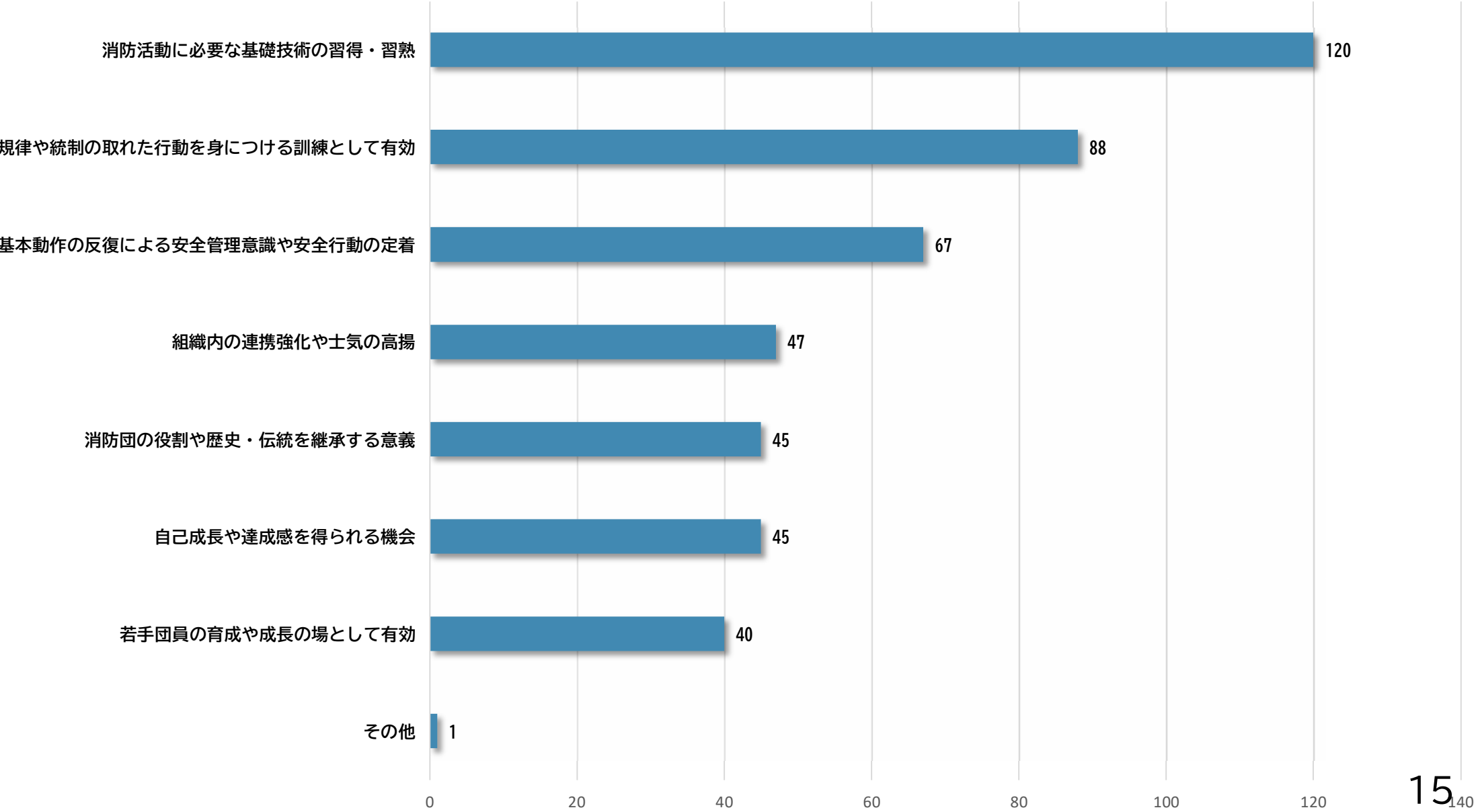
問19 県操法大会の開催方法や競技内容について



■ 県操法大会との関わり

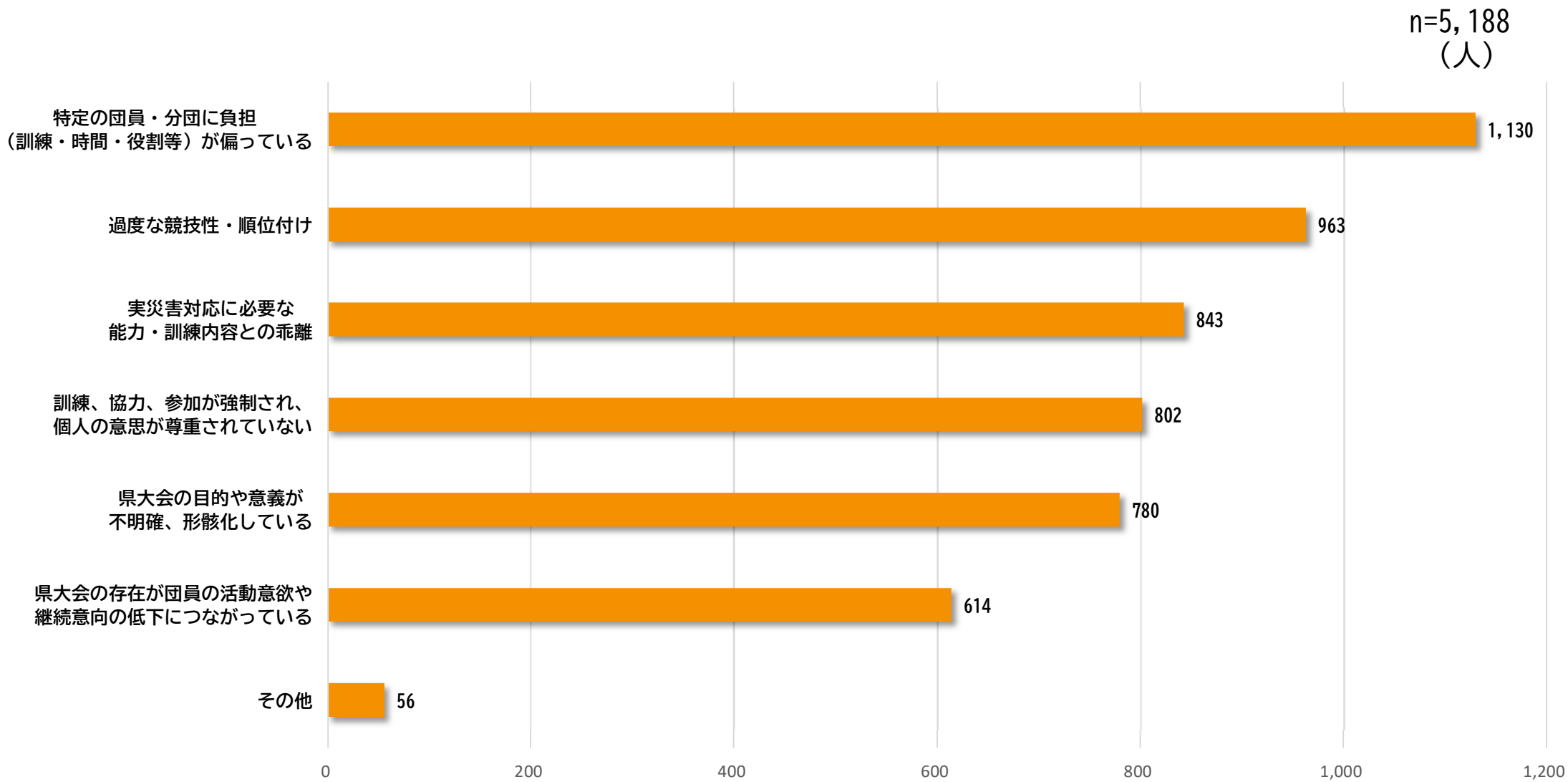
問20 問19にて「現状の形を維持し、大切にしていきたい」とした理由

n=453
(人)



■ 県操法大会との関わり

問21 問19にて「現状の県操法大会を見直してほしい」とした理由



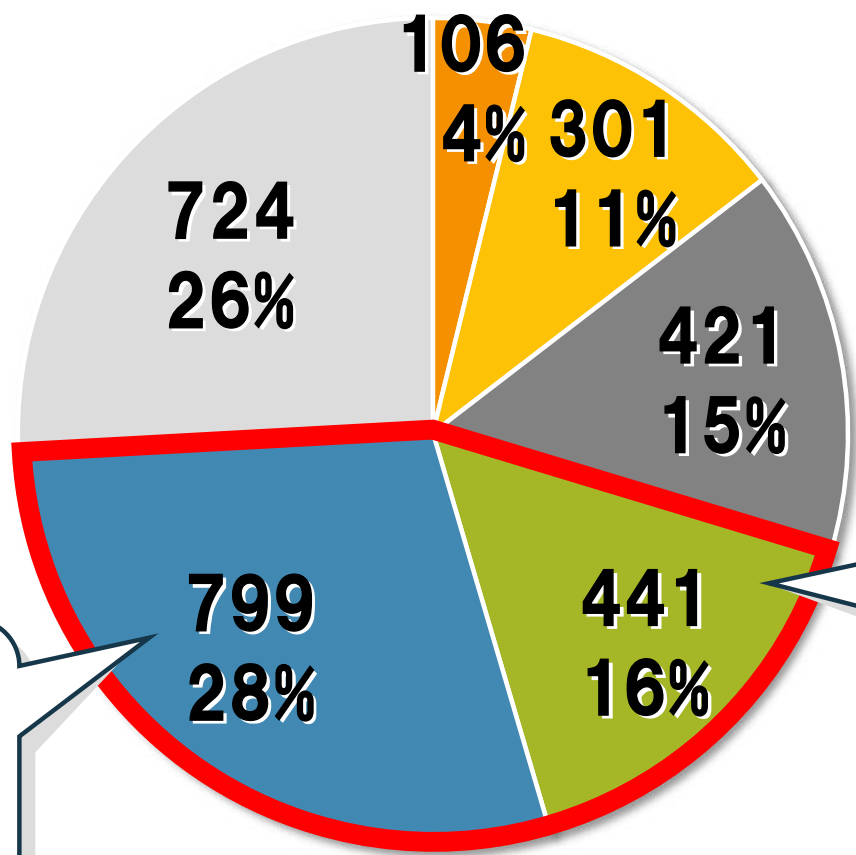
～問21 その他～

- ・大会の廃止・不要論
 - ・競技性への疑問・実践的な訓練への転換
 - ・審査の公平性・フィードバックへの不満
 - ・大会の意義肯定・前向きな改善論
- ・団員減少・高齢化への懸念（足かせ論）
 - ・開催時期・期間・頻度の見直し要望
 - ・特に意見なし・未経験

■ 県操法大会との関わり

問22 県操法大会は、消防団活動にどう影響を与えているか

n=2,792
(人)



さらに、県操法大会が「今後の活動の継続を考える要因になっている」と28%が考えている

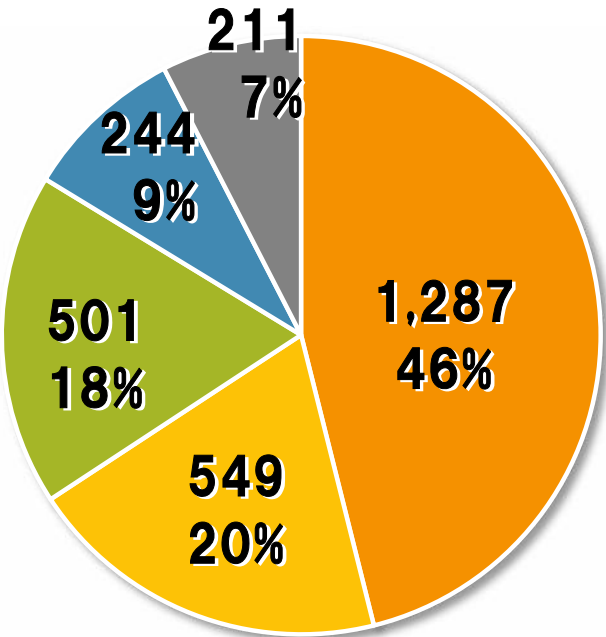
回答者の44%が県操法大会の負担が「消防団活動に影響」を与えていると考えている

- 活動への活力を与えてくれる、大きな励みになっている
- 良い刺激になり、前向きに取り組むきっかけになっている
- 日頃の活動の一つとして、特に変わりなく取り組んでいる
- 負担を感じ、悩むことがある
- 負担が大きく、今後の活動の継続を考える要因になっている
- よくわからない

県操法大会のあり方

問23 県操法大会のあり方について、最も重要と考える事項はなにか

n=2,792
(人)



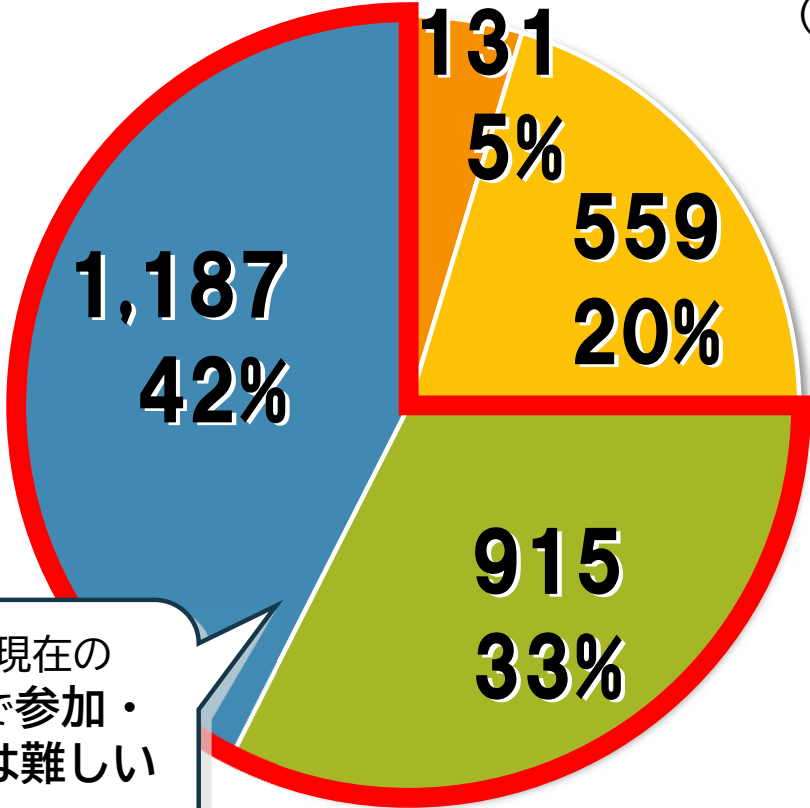
- 実践形式への見直しと実災害対応力の強化
- 団員間の交流促進と組織力の強化
- 地域住民への啓発と信頼の獲得
- 伝統の継承と厳格な規律の徹底
- その他

～問23 その他の意見～

- ・ 大会の廃止・不要論
- ・ わからない・未経験・認知不足
- ・ 本業（仕事）・生活・家族への過度な負担
- ・ 競技性への疑問・実践（現場）訓練への転換
- ・ 特に意見なし
- ・ 団員減少・高齢化・強制参加への懸念
- ・ 開催頻度・制度・処遇の改善要望（前向き意見含）

問24 現在の県操法大会の形式で、参加したい（または若手に勧められる）と思うか

n=2,792
(人)



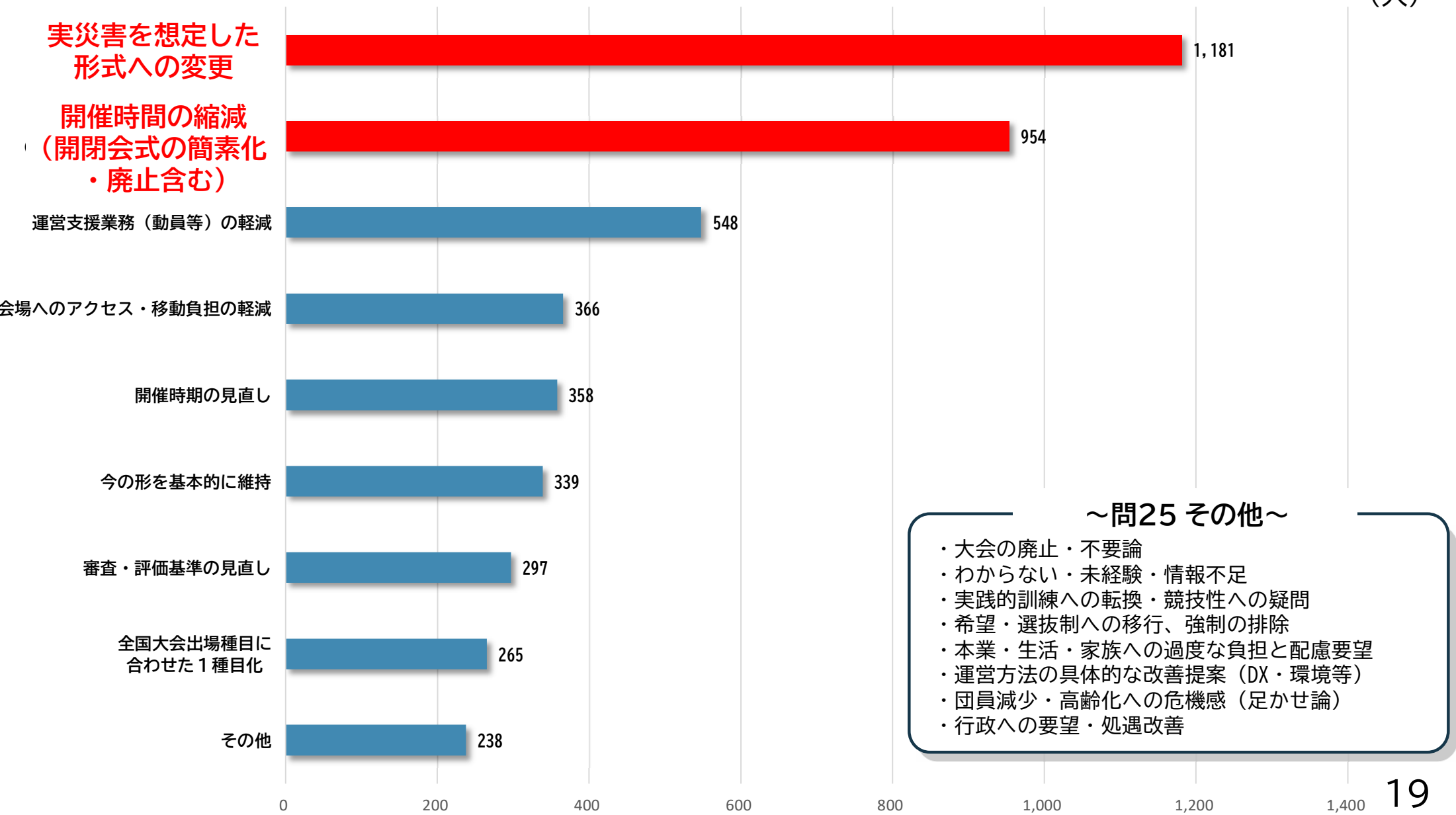
回答者の75%が現在の県操法大会の形式で参加・参加を勧めるのは難しいと考えている

- 問題なくできる
- 工夫すればできる
- 今のままでは難しい
- 出場は難しい

県操法大会のあり方

問25 今後の県操法大会はどうあるべきか

n=4,546
(人)



～問25 その他～

- ・大会の廃止・不要論
- ・わからない・未経験・情報不足
- ・実践的訓練への転換・競技性への疑問
- ・希望・選抜制への移行、強制的排除
- ・本業・生活・家族への過度な負担と配慮要望
- ・運営方法の具体的な改善提案(DX・環境等)
- ・団員減少・高齢化への危機感(足かせ論)
- ・行政への要望・処遇改善

■ 自由意見

問26 県操法大会についての意見(回答数:570)

- ・大会の廃止・不要論 (185件)
- ・実践的な訓練への移行要望 (110件)
- ・身体的・時間的負担の軽減 (95件)
- ・肯定的な意見 (技術向上・団結力) (50件)
- ・運営方法や審査基準の改善 (30件)
- ・その他 (特になし・分類不能等) (100件)

問27 消防団活動を通じて良かったと感じたこと(回答数:691)

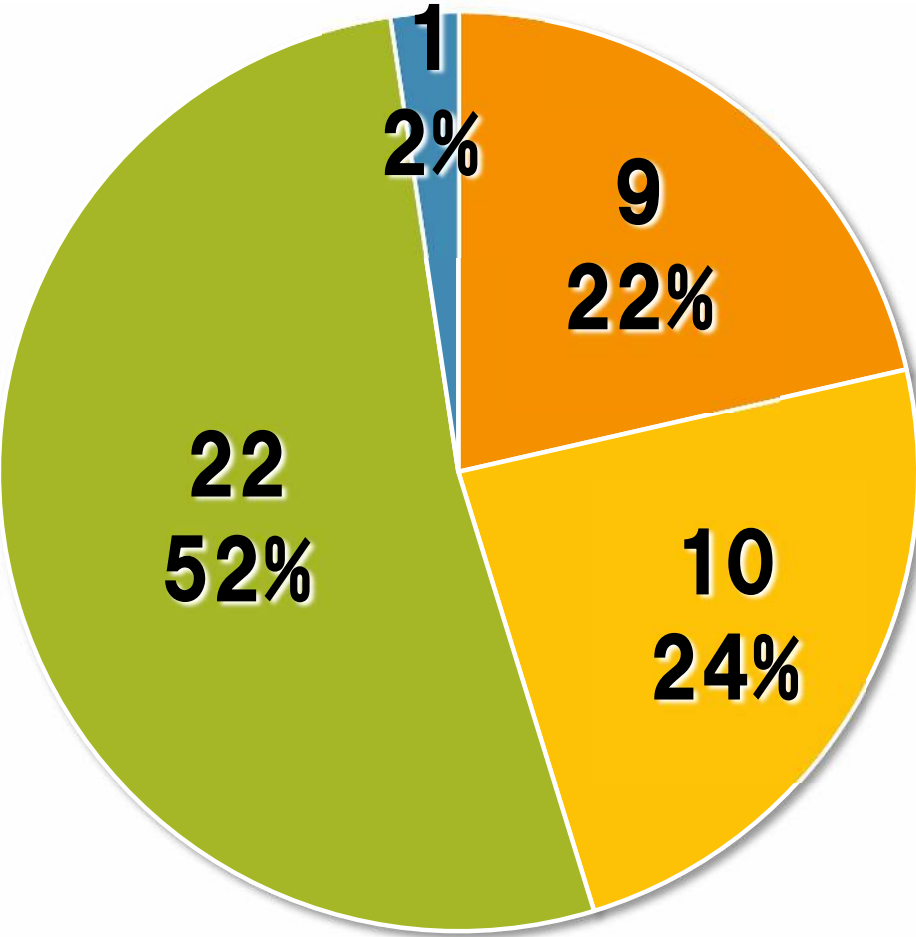
- ・地域貢献・やりがい・住民からの感謝 (178件)
- ・団員同士や他地域の人との交流・絆 (162件)
- ・防災知識・技術の習得と意識向上 (105件)
- ・負担・不満・旧態依然とした活動への疑問 (91件)
- ・実災害現場 (火災・震災等) での経験 (28件)
- ・その他 (特になし・分類不能等) (127件)

2 市町村・地区支部向け アンケート

■ 地区支部大会について

問4 地区支部において、消防操法大会を開催しているか

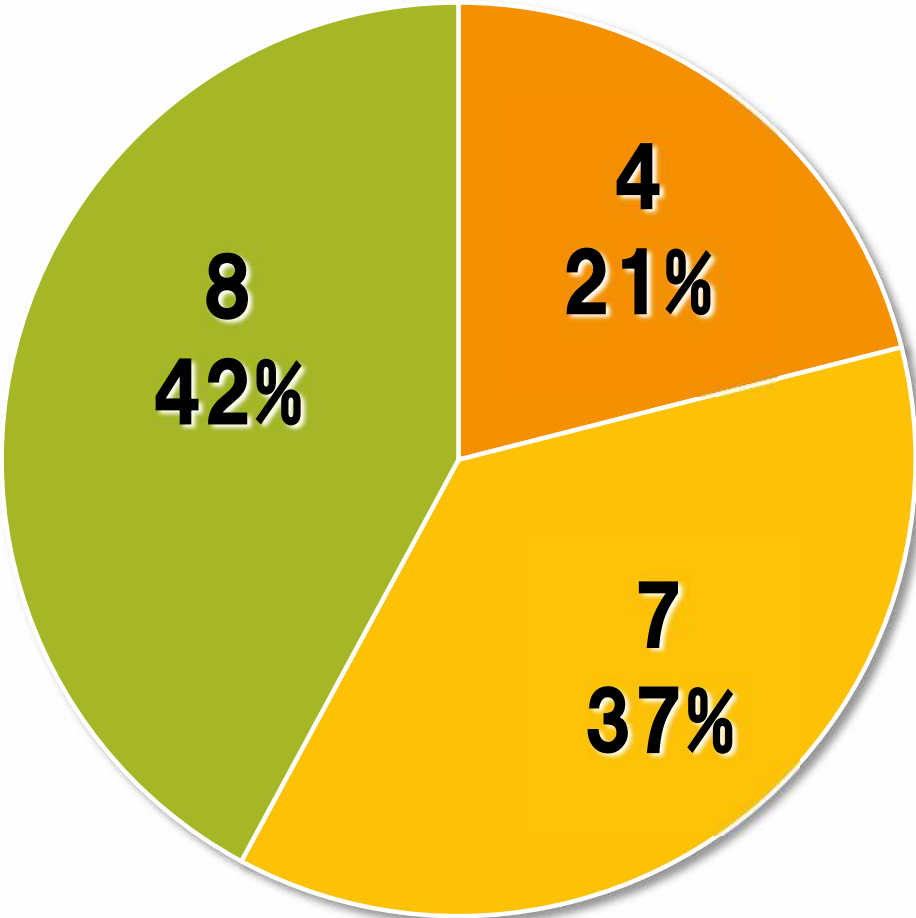
n=42
(件)



■ 毎年開催 ■ 隔年開催 ■ 実施していない ■ その他

問5 地区支部の消防操法大会の位置づけ
(開催のある機関のみ回答)

n=19
(件)

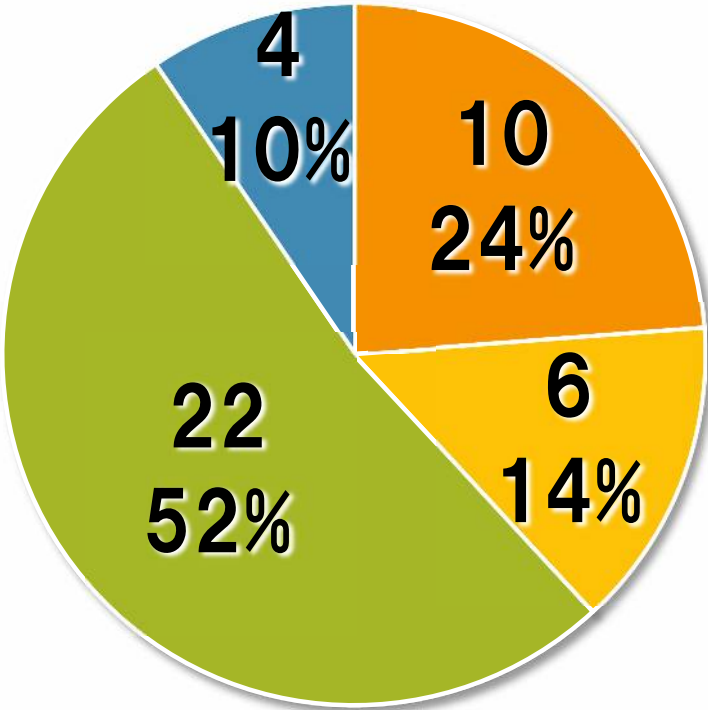


■ 県大会出場チームの選考
■ 地区内の競技大会 (選考とは別)
■ 訓練成果の発表・確認

地区支部大会について

問6 近年、地区支部の消防操法大会及び消防操法訓練について見直しを行ったか。

n=42
(件)



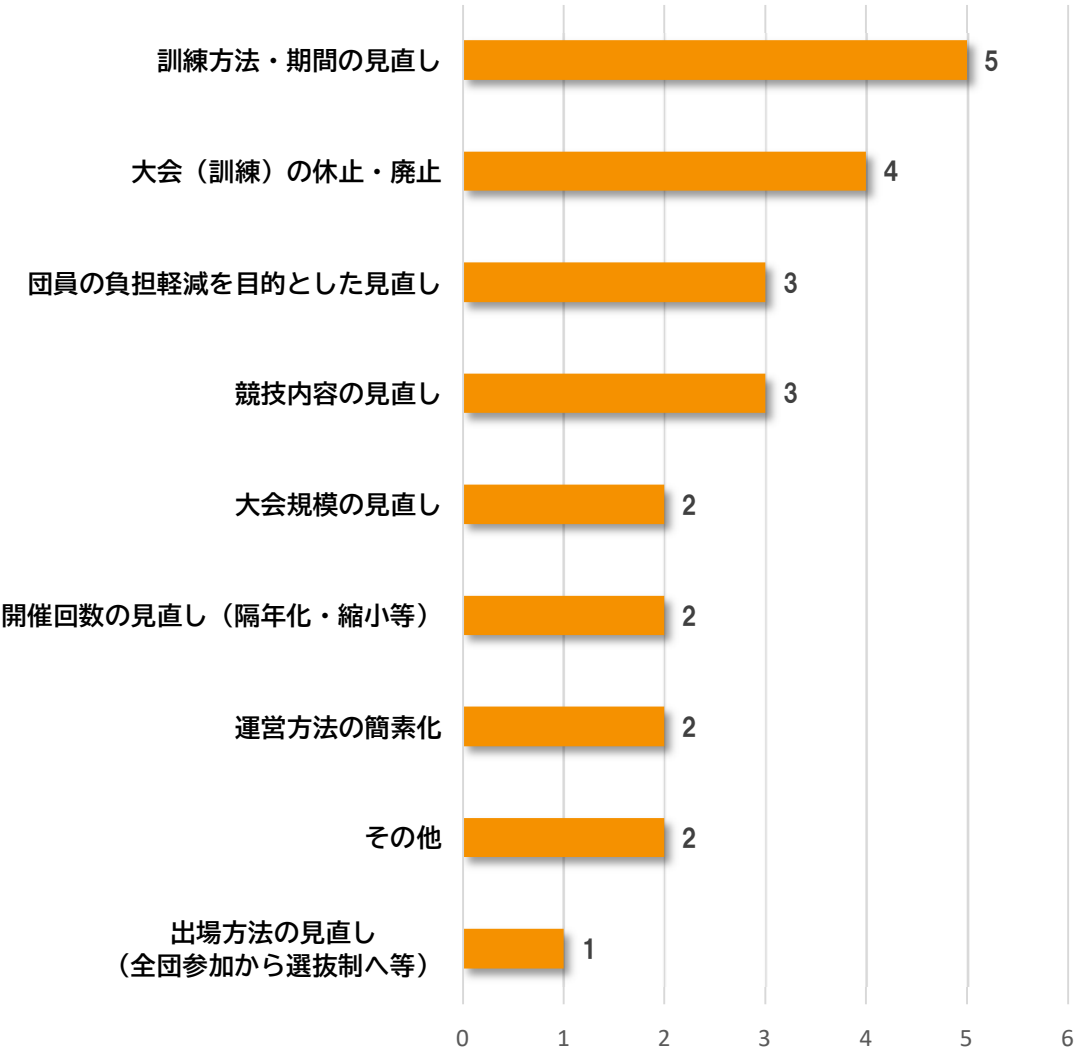
- 見直しを行った
- 現在見直しを行っている
- 特に見直しは行っていない
- その他

～問6 その他の意見～

- ・ 組織・行事のあり方の見直し（効率化・継続検討）
- ・ 訓練の現場実践化と操法の応用

問7 どのような見直しを行ったか。

n=24
(件)



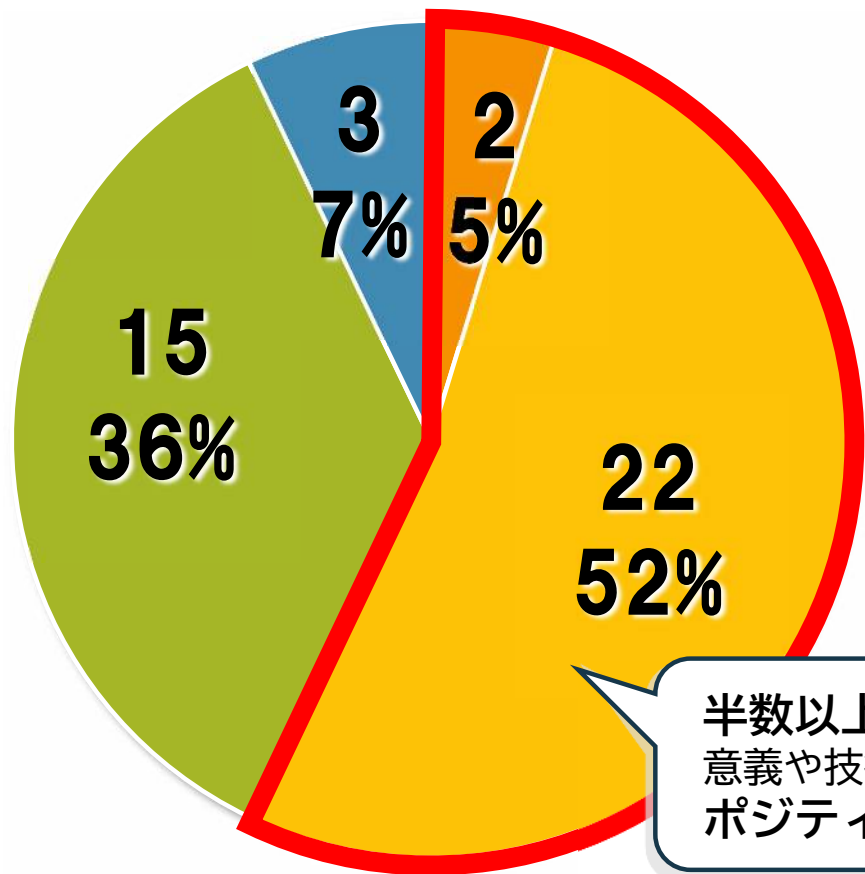
～問7 その他の意見～

- ・ 会場の見直し
- ・ 操法訓練の廃止、実践的訓練の実施

■ 県操法大会について

問8 県操法大会は団員にとって意義のある行事か。

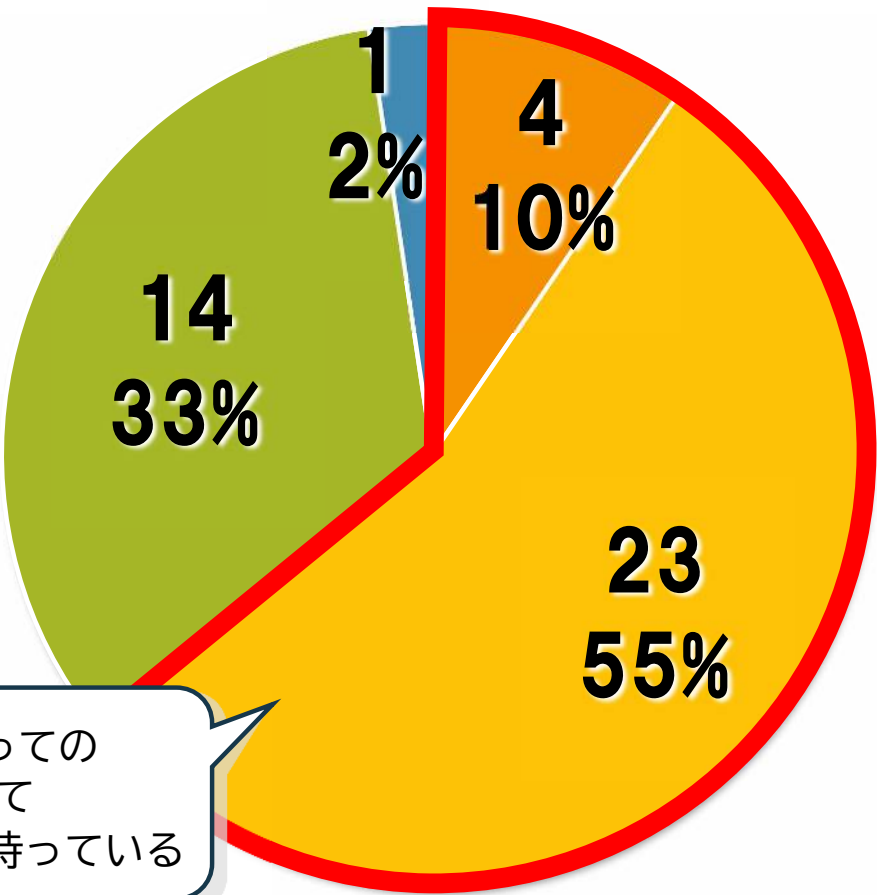
n=42
(件)



- とても思う
- ある程度思う
- あまりそう思わない
- ほとんどそう思わない

問9 消防操法大会への出場は消防活動の技術向上に役立っていると思うか。

n=42
(件)

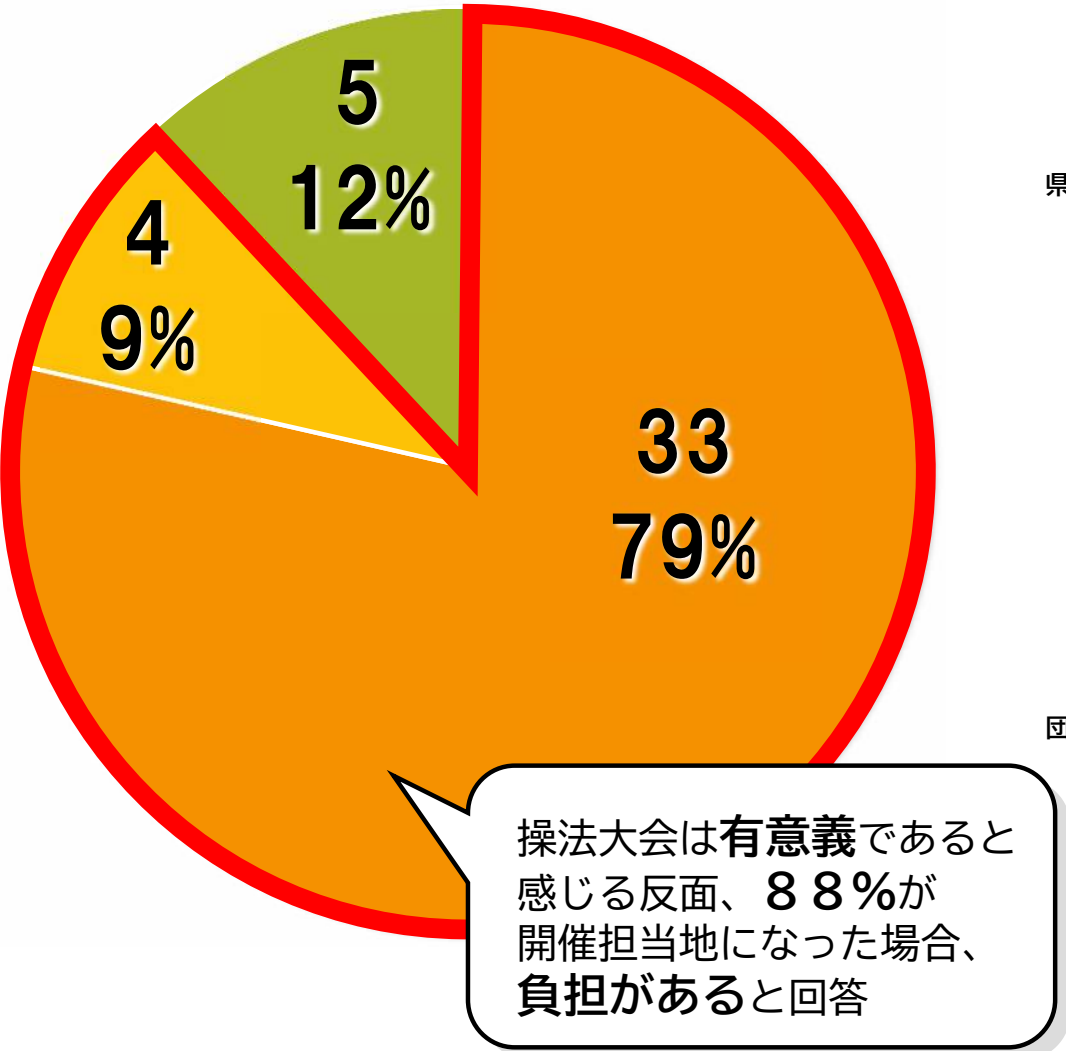


- とても役立っている
- ある程度役立っている
- あまり役立っていない
- ほとんど役立っていない

半数以上が団員にとっての
意義や技術向上に対して
ポジティブな意見を持っている

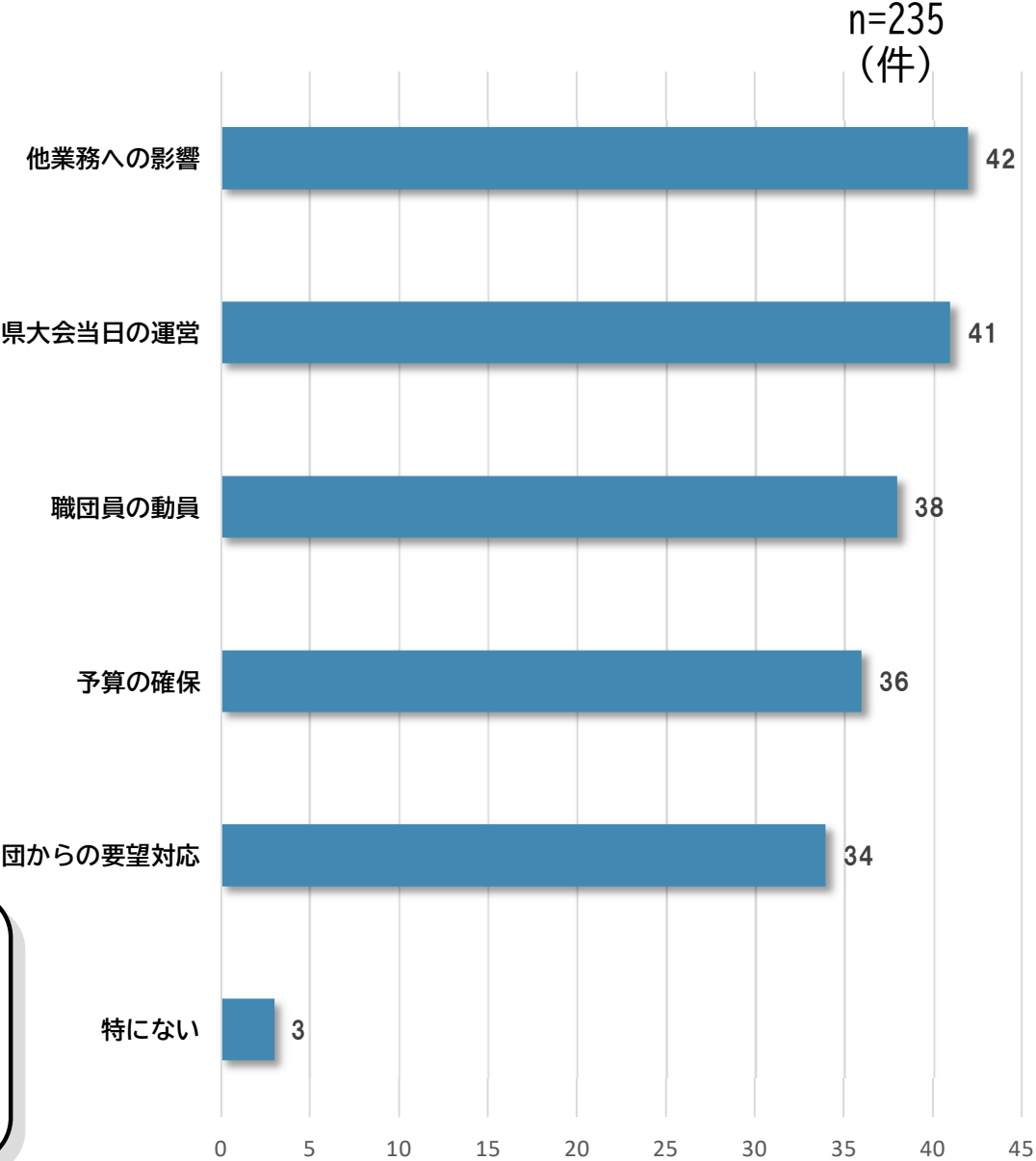
■ 県操法大会について

問10 これまでの輪番制による県操法大会の開催において、開催担当地としてどの程度の負担があるか(あると考えるか)。 n=42 (件)



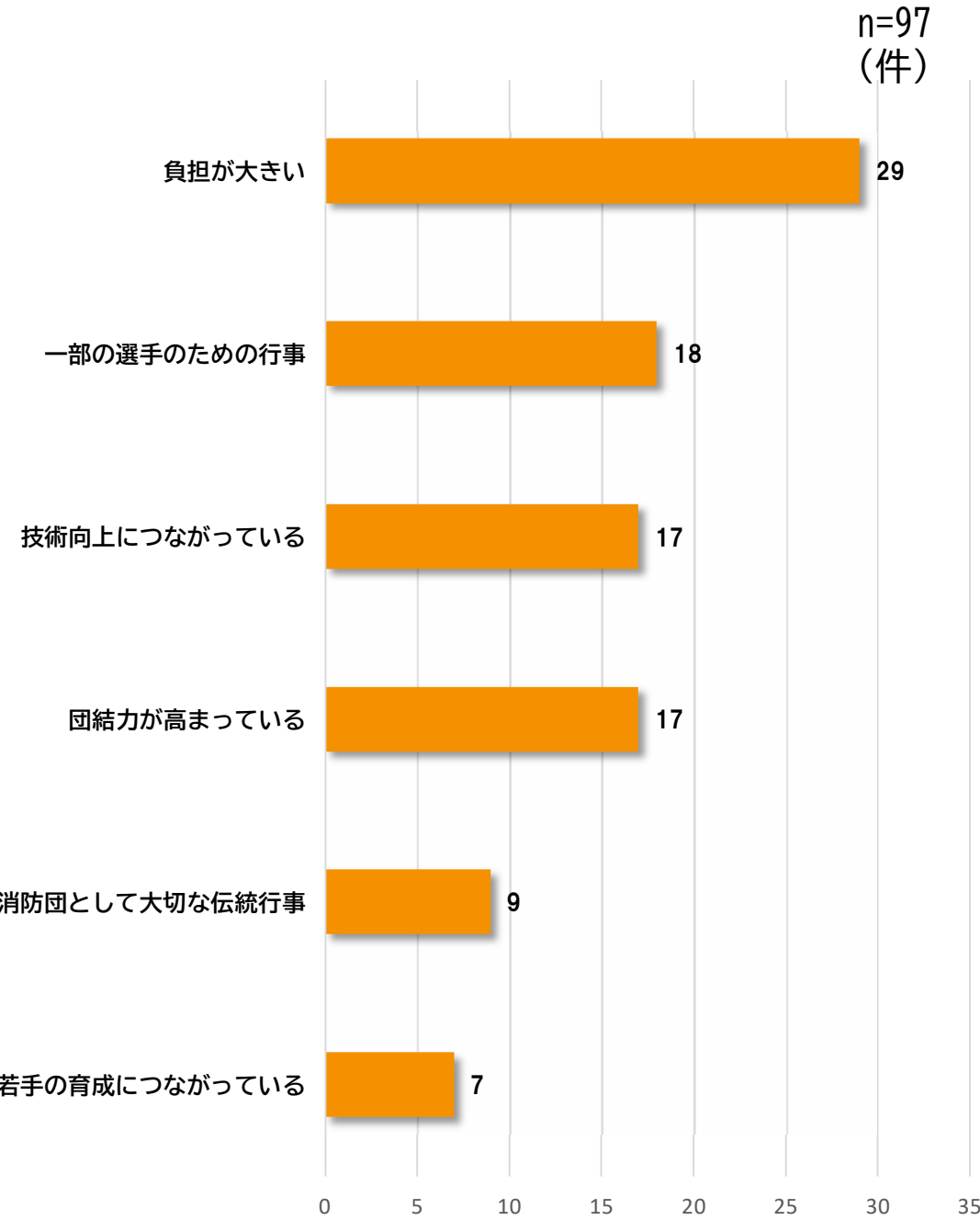
■ とても大きい ■ ある程度ある ■ あまり感じない

問11 特に負担となった(なると思う)ものはどれか。

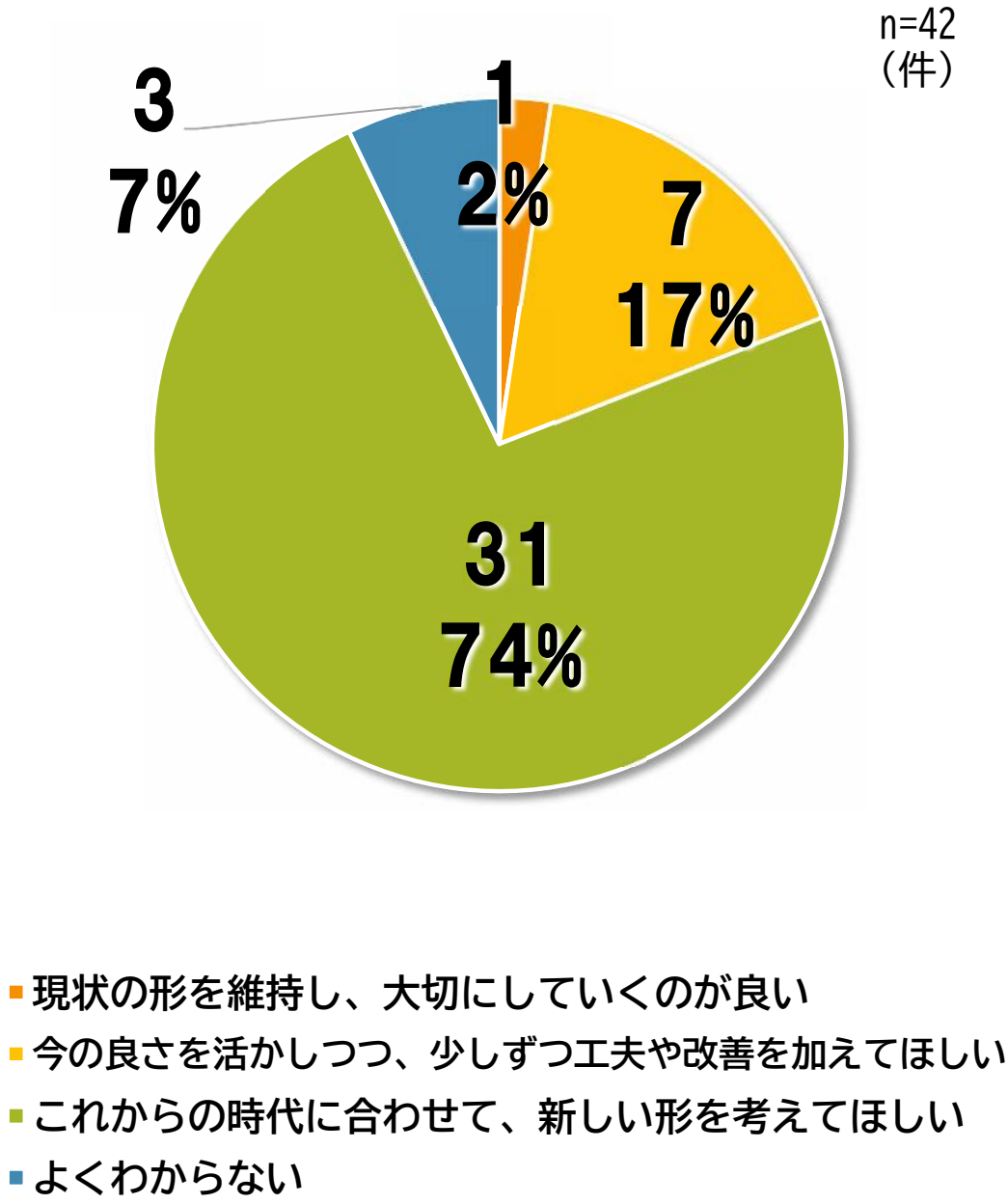


■ 県操法大会について

問12 県操法大会にどのような印象があるか。

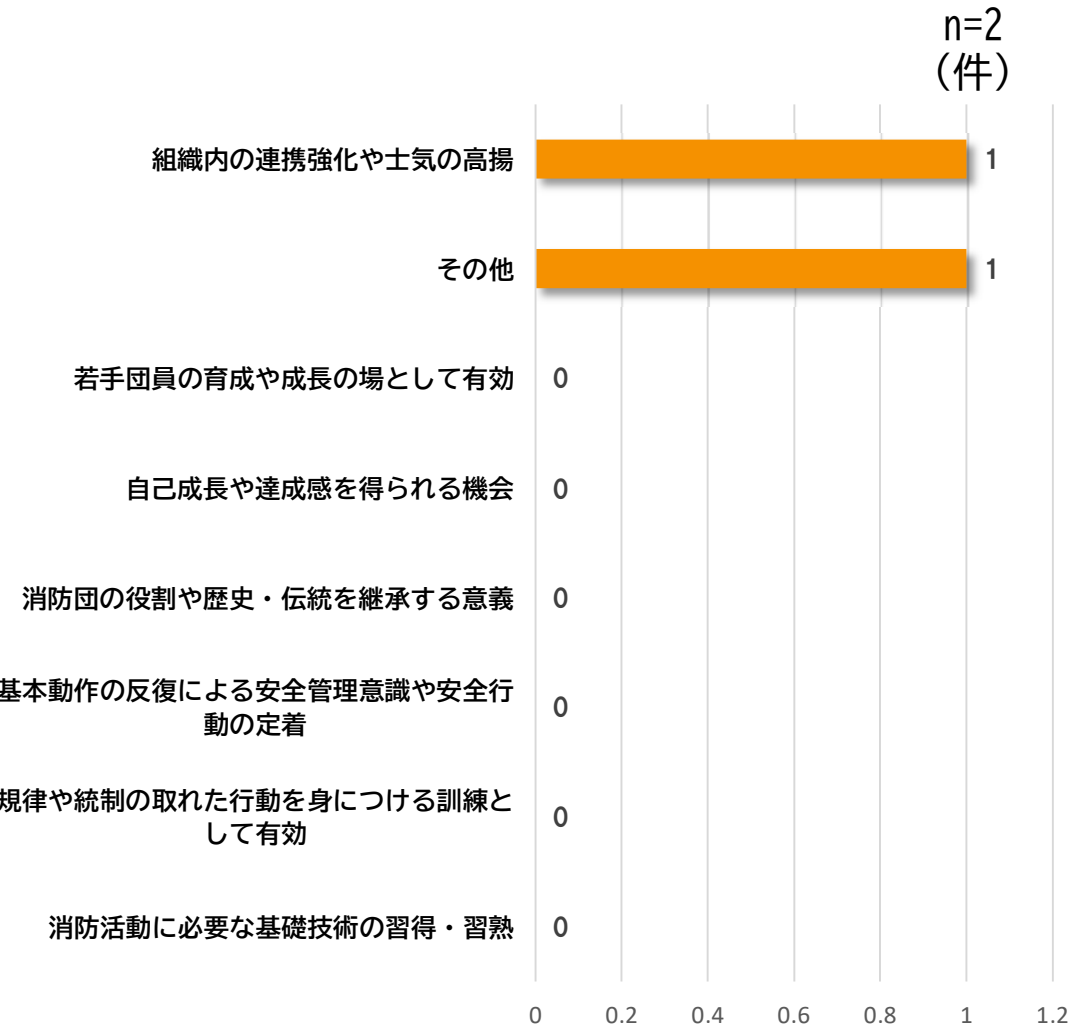


問13 県操法大会の開催方法や競技内容に対し、どのように感じているか。



■ 県操法大会について

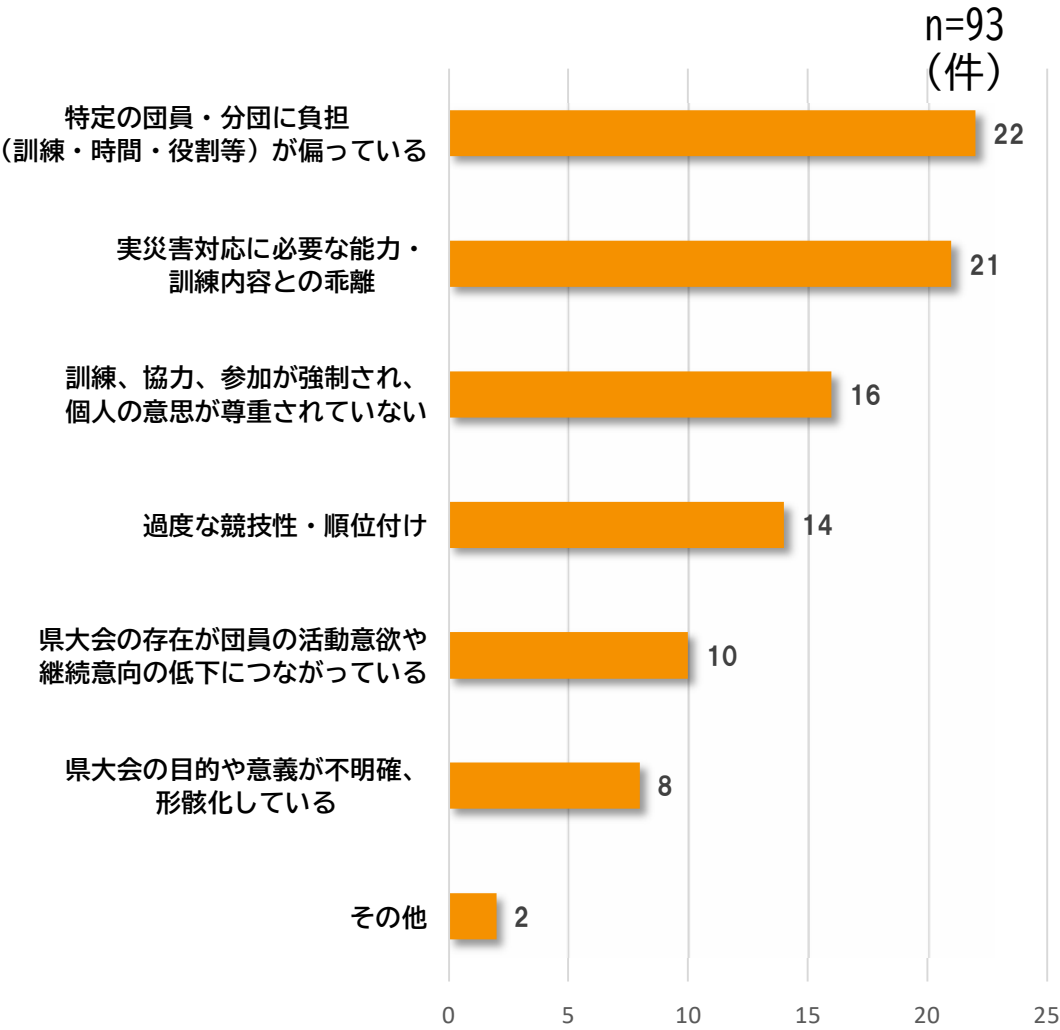
問14 問13にて「現状の形を維持し、大切にしていけるのが良い」とした理由



～問14 その他の意見～

- ・ 全国大会の基準の見直しを検討

問15 問13にて「現状の県操法大会を見直してほしい」と考える理由



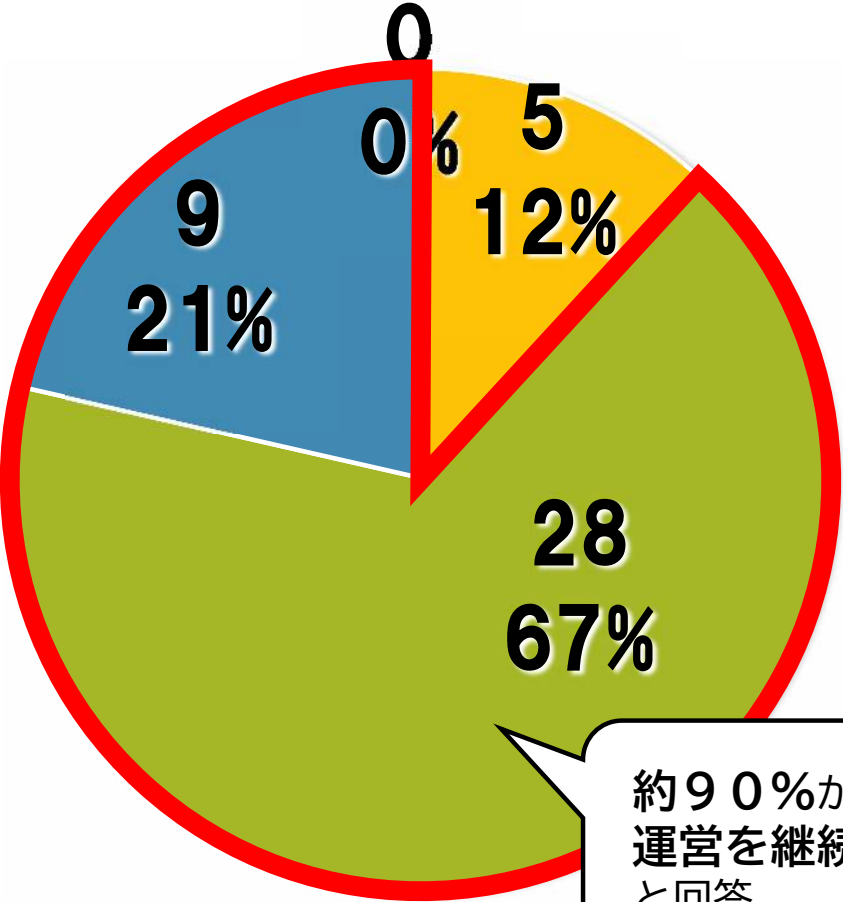
～問15 その他の意見～

- ・ 開催場所の確保、予算の確保が困難
- ・ 操法大会は若手育成の場として、主催者負担を減らした簡略な形式（記録会など）での開催の要望

■ 県操法大会のあり方

問16 現在の県操法大会の形で、今後も運営を継続できるか

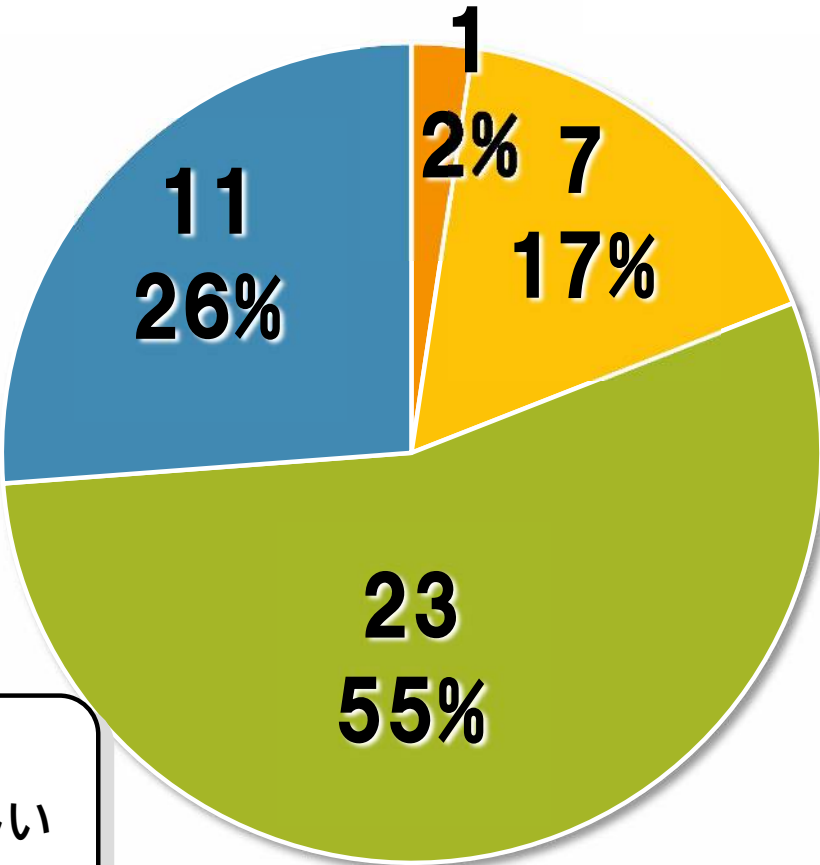
n=42
(件)



- 問題なくできる
- 今のままでは難しい
- 工夫すればできる
- 継続は困難

問17 現在の県操法大会は、若手団員の確保・育成にとって適切だと思うか

n=42
(件)

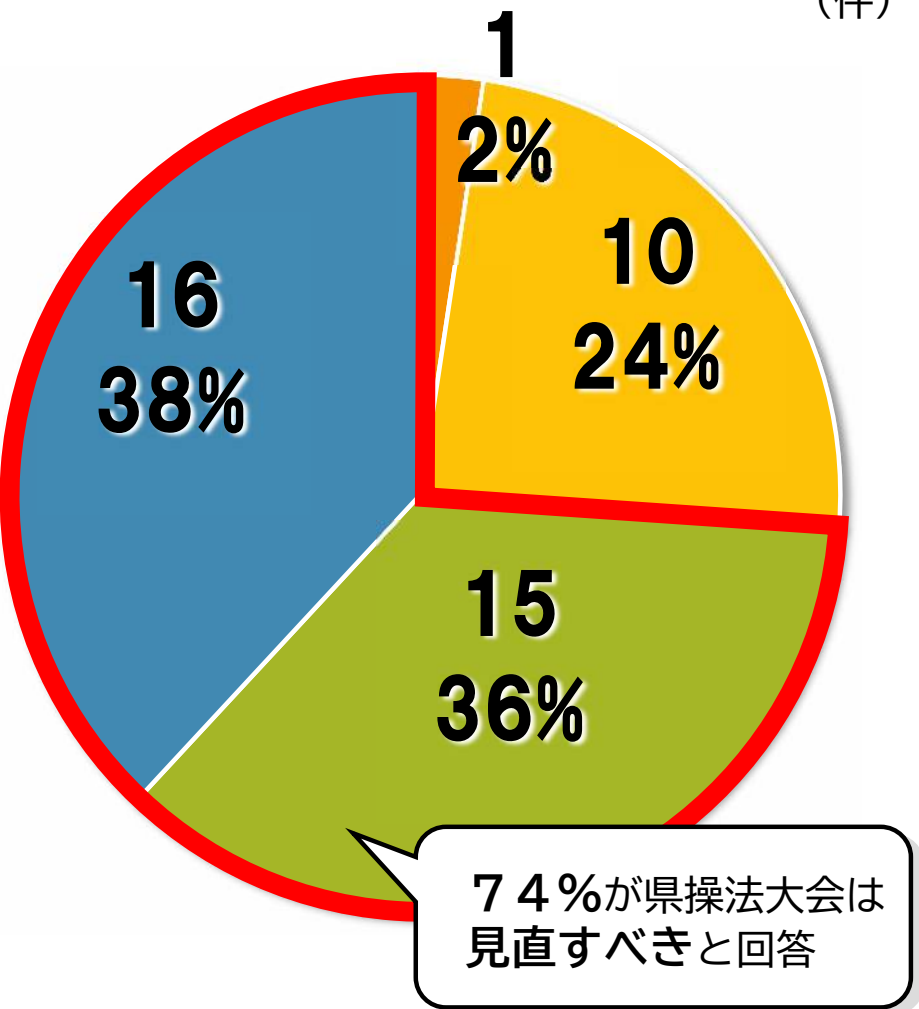


- とても適切
- ある程度適切
- あまり適切ではない
- 適切ではない

■ 県操法大会のあり方

問18 県操法大会は制度として今後も維持するべきだと思うか

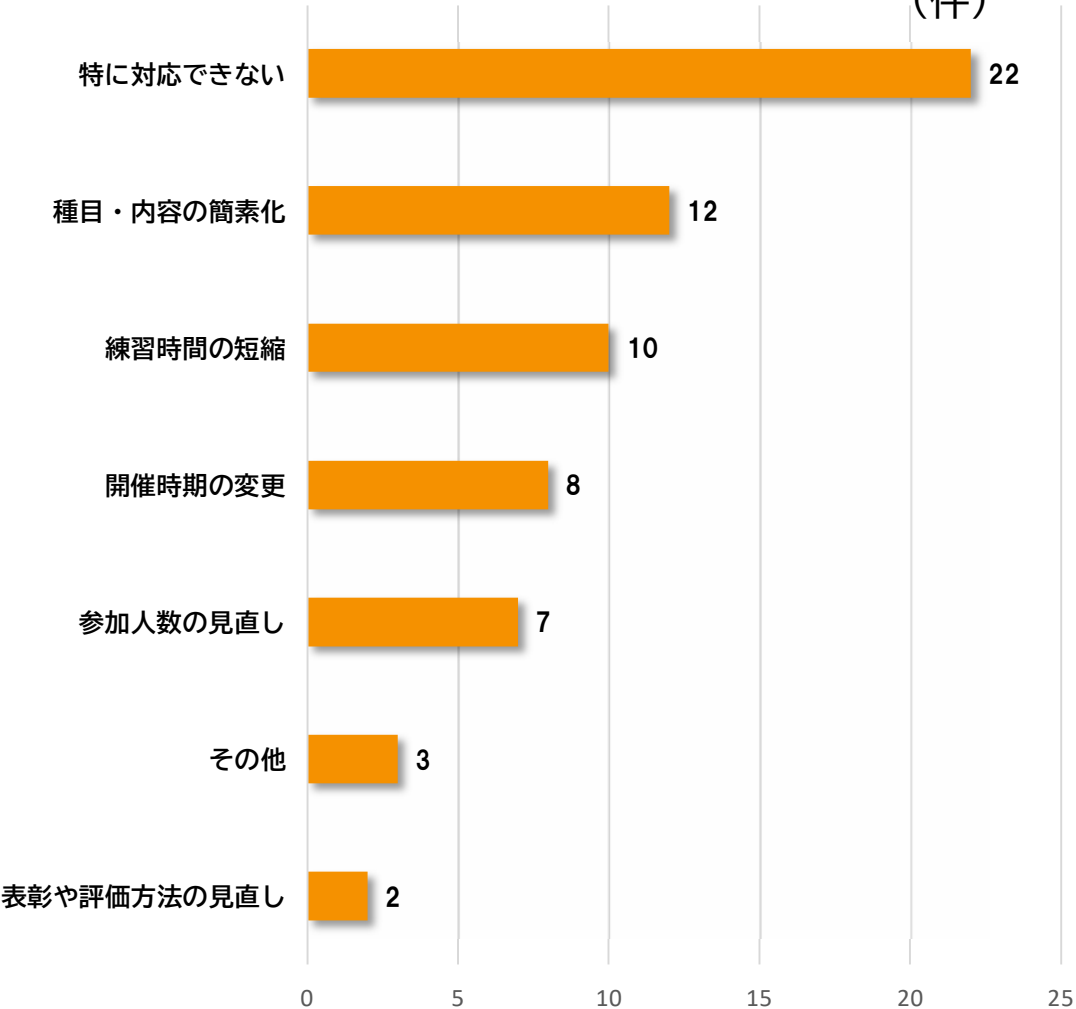
n=42
(件)



- 今の形で維持するべき
- 見直しつつ維持するべき
- 大きく見直すべき
- 廃止も含めて検討すべき

問19 市町村・地区支部として対応可能だと思うものはどれか

n=64
(件)



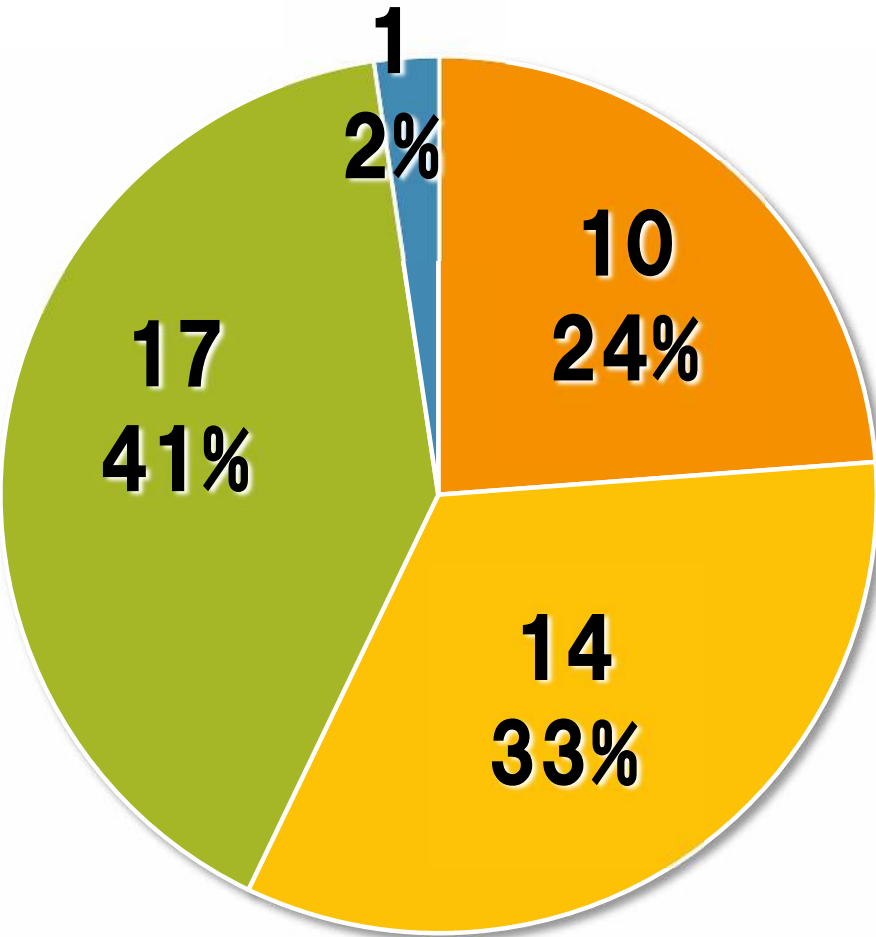
～問19 その他の意見～

- ・ 回答不能
- ・ 対応は難しい。
- ・ 廃止

■ 県操法大会のあり方

問20 開催方法(時期・日程・会場等)を見直すことは可能だと思うか

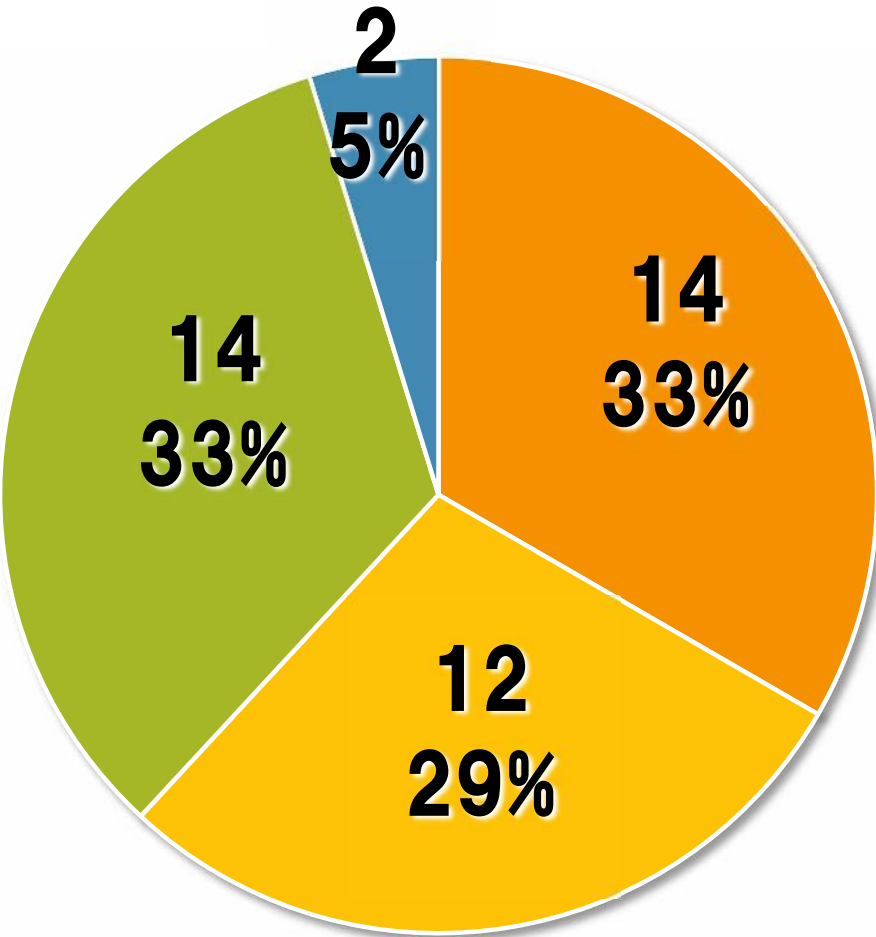
n=42
(件)



■ 可能 ■ 条件付きで可能 ■ 難しい ■ 不可能

問21 競技内容や県操法大会規模を簡素化することは可能だと思うか

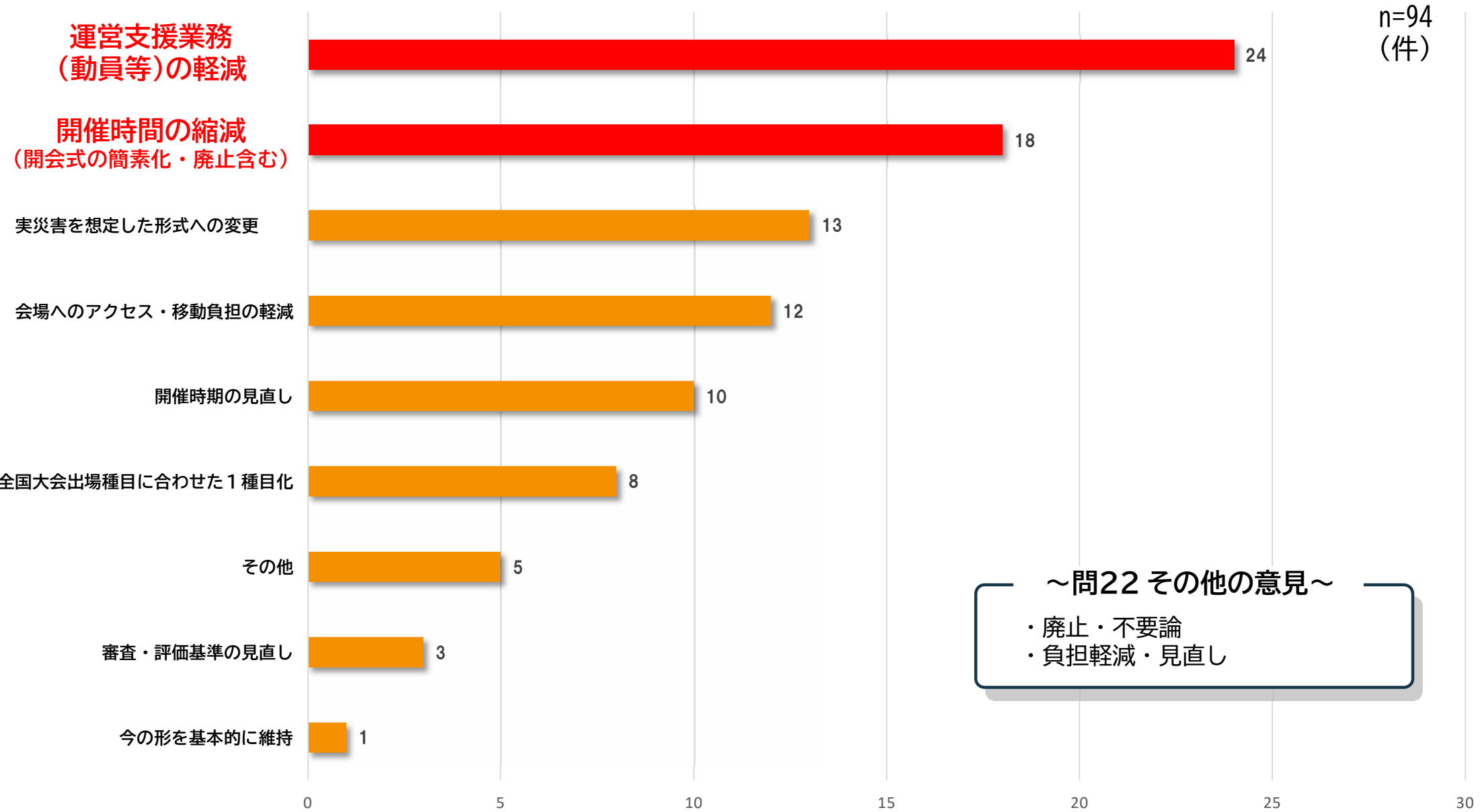
n=42
(件)



■ 可能 ■ 条件付きで可能 ■ 難しい ■ 不可能

県操法大会のあり方

問22 今後の県大会はどうあるべきだと考えるか



■ 自由意見

問23 県操法大会に関する意見(回答数:13)

- 1 大会の廃止・「競技」から「実践」への転換要望 (5件)
- 2 全国大会を見据えた運営の見直し・負担軽減 (6件)
- 3 その他（実情不明・別設問への誘導） (2件)